

RICOH



RICOH SP 3610

使用説明書

目次

1. 本機のご利用にあたって

はじめに.....	7
正しくお使いいただくために.....	7
使用説明書の読みかた.....	7
オプションの商品名と略称.....	8
使用説明書の紹介.....	10
使用説明書一覧表.....	12
画面で見る使用説明書の使いかた.....	13
使用説明書の種類.....	13
使用説明書（HTML 形式）を CD-ROM を使って見る.....	13
使用説明書（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う.....	14
使用説明書（PDF 形式）を CD-ROM を使って見る.....	15
各部の名称とはたらき.....	17
本体各部の名称とはたらき.....	17
操作部の名称とはたらき.....	21
操作画面の名称とはたらき.....	22
ダウンロードできるソフトウェア.....	23
Ridoc IO Device Manager Accounting/ Ridoc IO Device Manager Lite できること.....	23
Ridoc Desk Navigator Lt できること.....	23
Ridoc IO Navi できること.....	23

2. 本機のセットアップ

本機をセットアップするときの流れ.....	25
オプションを取り付ける.....	26
増設トレイを取り付ける.....	26
電源の入れかた、切りかた.....	28
電源の入れかた.....	28
電源の切りかた.....	28
節電.....	29
パソコンに接続する.....	31
イーサネットインターフェースに接続する.....	31
USB（B コネクター）インターフェースに接続する.....	32
ネットワークの設定.....	34
イーサネットを使用する.....	34

テスト印刷する.....	36
システム設定リストの見かた.....	36

3. 用紙をセットする

用紙をセットするときの流れ.....	39
セットできる用紙のサイズ.....	40
セットできる用紙の種類.....	42
用紙をセットするときの注意事項.....	44
給紙トレイに用紙をセットする.....	46
A4口より大きい用紙をセットするとき.....	49
手差しトレイに用紙をセットする.....	51
天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする.....	53
はがきをセットする.....	54
封筒をセットする.....	56
用紙の設定.....	59
用紙サイズを設定する.....	59
用紙種類を設定する.....	60
操作部を使用してはがき、封筒を設定する.....	60

4. 印刷する

プリンタードライバーの設定画面を開く.....	63
ドライバー設定画面を開く.....	63
基本的な印刷のしかた.....	66
便利な印刷機能.....	67
用紙の両面に印刷する.....	67
複数のページを集約して印刷する.....	67
1ページを複数枚に分けて印刷する.....	68
製本印刷する.....	69
部単位で印刷する.....	70
トナーを節約して印刷する.....	71
原稿に文字をスタンプする.....	71
便利な印刷機能を使用する.....	72
はがき、封筒に印刷する.....	75
プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷する.....	76
印刷を中止する.....	77

印刷開始前のとき	77
印刷中のとき	77
用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき	78
強制印刷する	78
トレイの用紙設定を変更して印刷する	78
手差しトレイからの印刷を継続する	79
印刷を中止する	79

5. 本機の設定と管理

[メニュー] 画面で本機を設定する	81
[メニュー] 画面の開きかた	81
[メニュー] キーの機能一覧	82
システム初期設定	83
プリンター初期設定	97
表示言語切替	103
調整/管理	103
用紙設定	103
Windows ネットワークプリンターを設定する	104
Web ブラウザーを使用する	105
Web Image Monitor のトップページを表示する	106
Web Image Monitor の設定項目一覧	107

6. こまつたときには

よくあるご質問を参照するとき	111
ブザー音が鳴ったとき	112
操作部のランプ、マーク、メッセージを確認するとき	113
マークが表示されたとき	113
USB 接続がうまくいかないとき	114
メッセージが表示されたとき	115
状態表示メッセージ	115
エラーメッセージ	115
印刷が始まらないとき	119
思いどおりに印刷できないとき	120
きれいに印刷できないとき	120
給紙がうまくいかないとき	121

その他のトラブルシューティング	124
用紙がつまつたとき	127
紙づまり (A1) が発生したとき	128
紙づまり (A2) が発生したとき	129
紙づまり (B) が発生したとき	131
紙づまり (B) (C) が発生したとき	133
紙づまり (Y1) が発生したとき	139
紙づまり (Z1) が発生したとき	140
紙づまり (Z2) が発生したとき	142

7. 保守/仕様

守ってほしいこと	145
使用上のお願い	145
印刷物の取り扱い	146
本機を移動する	147
本機を清掃する	149
清掃のしかた	149
給紙トレイ、フリクションパッド、給紙コロを清掃する	149
レジストローラーを清掃する	152
手差しトレイの給紙コロを清掃する	153
LED ヘッドを清掃する	155
本体内部を清掃する	157
電源プラグの清掃	158
印刷濃度を調整する	160
印刷位置を調整する	161
ファームウェアを更新する	163
消耗品の補給と交換	164
トナーカートリッジを交換する	164
ドラムユニットを交換する	166
消耗品一覧	168
トナーカートリッジ	168
ドラムユニット	168
用紙	168
関連商品一覧	169

外部オプション	169
インターフェースケーブル	169
本体とオプションの仕様	170
本体の仕様	170
250 枚増設トレイの仕様	171
500 枚増設トレイの仕様	172
エネルギースタープログラム	173
省エネルギー機能	174
お問い合わせ	175
リモート管理サービスを利用する	175
保守サービス契約	176
お問い合わせ先	176
付録	178
Windows ターミナルサービス/Citrix Presentation Server を使用する	178
DHCP を使用する	179
ダイナミック DNS 機能を使用する	180
SNMP を使用する	182
商標	182

1. 本機のご利用にあたって

使用説明書の読みかたや各部の名称とはたらき、操作部の使用方法やログイン方法などについて説明します。

1

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載しております。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

使用説明書の読みかた

使われているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『』

本書以外の分冊名称を示します。



操作部を使用する手順の中で、続けて行うキー操作を示しています。

1

例：

[インターフェース設定] ▶ [OK]

([インターフェース設定] を選択して、[OK] キーを押します)

おことわり

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

本書についてのご注意

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されているときは、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。使用環境に合わせてお読みください。

オプションの商品名と略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
250 枚増設トレイ 4500	250 枚増設トレイ

商品名	略称
500 枚増設トレイ 4500	500 枚増設トレイ
キャスターテーブル 4500	キャスターテーブル

使用説明書の紹介

1

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。画面で見る使用説明書は付属のCD-ROMに収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、P.13「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

ユーザーガイド ()

本機の基本的な使いかた、よく使う機能、エラーメッセージが表示されたときの対処方法などについて、使用説明書から抜粋して提供しています。

はじめにお読みください ()

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。各規制や環境対応について説明しています。

かんたんセットアップ ()

本機を梱包箱から取り出し、パソコンと接続するまでの手順を説明しています。

使用説明書 ()

本機の使用に関する詳細情報を説明しています。主な内容は次のとおりです。

- 本機のセットアップ
- 本機のご利用にあたって
- 用紙をセットする
- 印刷する
- 本機の設定と管理
- こまつたときには
- 保守/仕様

セキュリティーガイド ()

管理者向けの説明書です。本機のセキュリティー機能を活用することで、機器の不正使用、データ改ざん、情報漏洩などを未然に防止できます。

セキュリティー強化のために、最初に下記の設定をすることをお勧めします。

- 機器証明書を導入する
- SSL を有効にする
- Web Image Monitor で、管理者のパスワードを変更する

詳しくは、『セキュリティーガイド』⑤「管理者のパスワードを変更する」を参照してください。

セキュリティー強化機能や認証の設定を行うときには必ずお読みください。

ドライバーインストールガイド（③）

各種ドライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。

↓ 補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧になれます。
- PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader / Adobe Reader が必要です。
- 使用説明書によって提供媒体が異なります。

使用説明書一覧表

1

分冊名	紙マニュアル 	画面で見る使用説明書 (HTML形式のマニュアル) 	画面で見る使用説明書 (PDF形式のマニュアル) 
ユーザーガイド	有り	なし	有り
はじめにお読みください	有り	なし	なし
かんたんセットアップ	有り	なし	なし
使用説明書	なし	有り	なし
セキュリティーガイド	なし	なし	有り
ドライバーインストールガイド	なし	なし	有り

画面で見る使用説明書の使いかた

画面で見る使用説明書の使いかたについて説明します。画面で見る使用説明書は、付属のCD-ROMに収録されています。

使用説明書の種類

本機の使用説明書は、媒体により3種類のものを提供しています。

- 紙の使用説明書
- 画面で見る使用説明書（HTML形式）
- 画面で見る使用説明書（PDF形式）

使用説明書の記載内容についてはP.10「使用説明書の紹介」を参照してください。また、分冊により提供されている使用説明書の形式が異なります。詳しくはP.12「使用説明書一覧表」を参照してください。

使用説明書（HTML形式）をCD-ROMを使って見る

付属のCD-ROMから開く方法を説明します。

1. CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. [使用説明書への入り口]をクリックします。



3. [使用説明書（HTML）を見る]をクリックします。
4. ブラウザが起動します。

4. 参照する項目を選択します。

補足

- 推奨ブラウザーは、次のとおりです。
- Internet Explorer 8/9

- Firefox 22
- Safari 5.1.7
- Chrome 28
- Macintosh を使用しているときは、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしたあと、「使用説明書を見る.htm」を開いてください。
- HTML 形式の使用説明書では、JavaScript が無効になっていると検索や一部のボタンが動作しません。

使用説明書（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う

HTML 形式の使用説明書はパソコンにインストールして使うことができます。

パソコンにインストールしておくと、いつでも参照できて便利です。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. [使用説明書への入り口] をクリックします。



3. [使用説明書（HTML）をインストールする] をクリックします。

4. 画面の指示にしたがって、インストールします。

5. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。

6. 最初の画面で [終了] をクリックします。

7. インストールした、画面で見る使用説明書（HTML 形式）を開きます。

アイコンから開くときは、デスクトップのアイコンをダブルクリックします。[スタート] メニューから開くときは、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] (Windows 7 を使用しているときは [プログラム])、[お使いの機種名] を選択します。

8. 参照する項目を選択します。

補足

- インストールするには管理者権限が必要です。Administrator グループのメンバーとしてログオンしてください。
- インストールするためには必要な OS の条件は Windows XP/Vista/7/8/8.1、または Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 です。
- 画面で見る使用説明書をディスプレイに表示させるために必要な条件は、表示解像度（デスクトップ領域）：1024×768 ピクセル以上です。
- インストールがうまくできないときは、CD-ROM の「MANUAL_HTML」フォルダーをすべてローカルディスクにコピーして、「Setup.exe」を実行してください。
- インストールした使用説明書を削除するときは、[スタート] メニューから [すべてのプログラム]（Windows 7 を使用しているときは [プログラム]）、[お使いの機種名] を選択してアンインストールを実行してください。
- インストール時の設定によっては、インストール先のフォルダー名称が異なることがあります。

使用説明書（PDF 形式）を CD-ROM を使って見る

PDF 形式の使用説明書の使いかたを説明します。

ファイル格納場所

付属の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

MANUAL_PDF

- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
- [使用説明書への入り口] をクリックします。



- [使用説明書（PDF）を見る] をクリックします。
- 参照する項目を選択します。

 **補足**

- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
- Macintosh を使用しているときは、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしたあと、「使用説明書を見る.htm」を開いてください。

各部の名称とはたらき

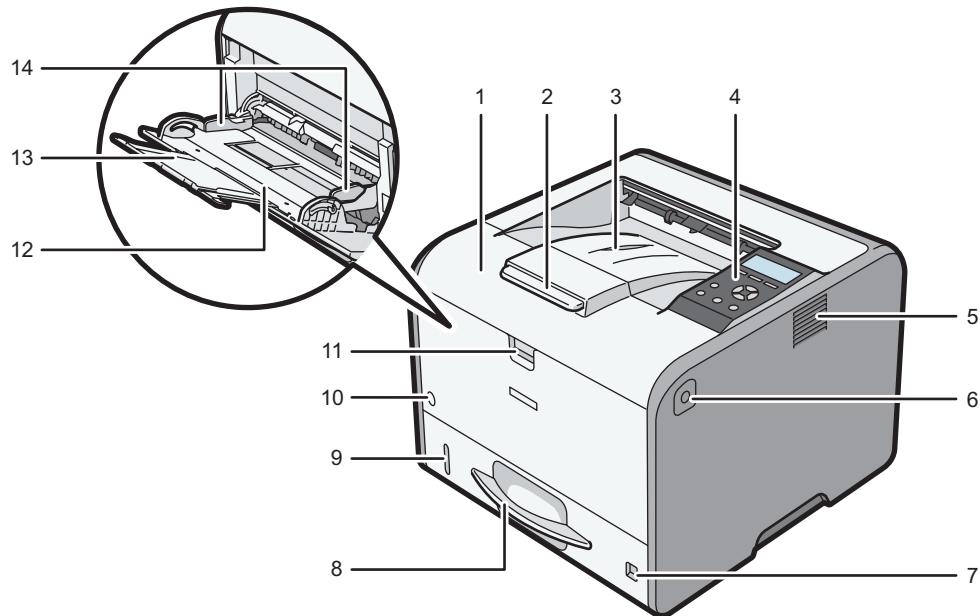
各部の名称とはたらきについて説明します。

本体各部の名称とはたらき

★ 重要

- 本機の横に物を置いたり、立てかけたりして通風孔をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

本体前面



CZF044

1. 前カバー

トナーカートリッジやドラムユニットを交換するときに開けます。

2. 延長排紙トレイ

排紙トレイから用紙が落ちないように引き出します。

3. 排紙トレイ

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

4. 操作部

詳しくは、P.21 「操作部の名称とはたらき」 を参照してください。

1. 本機のご利用にあたって

5. 通風孔

機械内部の温度上昇を防止します。

6. 前カバーオープンボタン

前カバーを開けるときに押します。

7. 用紙サイズダイヤル

用紙サイズを指定するときにこのダイヤルを使用します。用紙サイズダイヤルに表示されていない用紙サイズを使用するときは、ダイヤルを"＊"に合わせてから操作部で用紙サイズを指定してください。

8. 紙トレイ（トレイ1）

用紙をセットします。普通紙で最大250枚までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙種類については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

9. 用紙残量インジケーター

給紙トレイの中に残っている用紙のおおよその残量を示します。

10. 電源スイッチ

本機の電源を入れるときまたは切るときにこのスイッチを押します。

11. 手差しトレイオープンボタン

手差しトレイを開けるときに押します。

12. 手差しトレイ

用紙をセットします。普通紙で最大100枚までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙種類については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

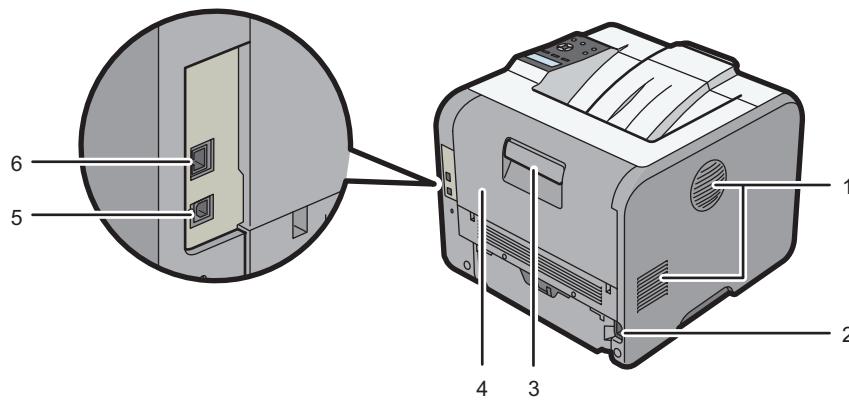
13. 手差しトレイ延長ガイド

長い用紙をセットするときに引き出します。

14. 用紙ガイド板

手差しトレイに用紙をセットするときは、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

本体背面



CZF003

1. 通風孔

機械内部の温度上昇を防止します。

2. 本体電源コネクター

本体の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルのもう一方は、コンセントに差し込みます。

3. 後ろカバーオープンレバー

後ろカバーを開けるときに引きます。

4. 後ろカバー

定着ユニットを交換するときや、封筒レバーを操作するときに開けます。

5. USB ポート B

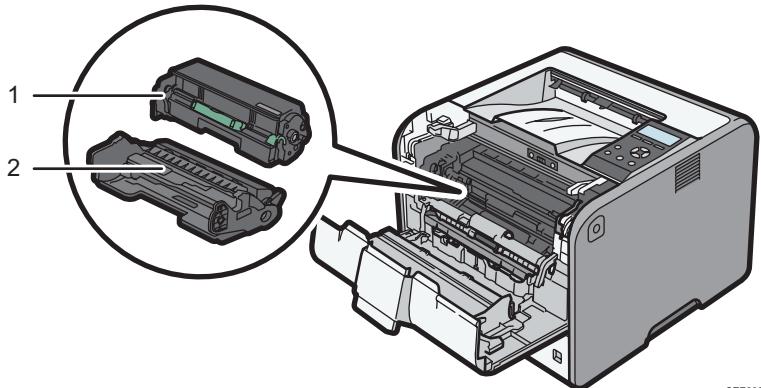
本体とパソコンを USB で接続するときは、このポートに USB ケーブルを接続します。

6. イーサネットインターフェース

本体とネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

本体内部（前面）

1



1. トナーカートリッジ

つまった用紙を取り除くときに取り外します。

トナーカートリッジを交換する必要があるときは、画面にメッセージが表示されます。

画面に表示されるメッセージの詳細は、P.164 「消耗品の補給と交換」 を参照してください。

▼ 補足

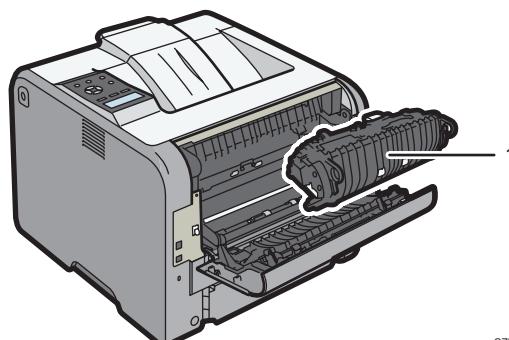
- ・つまった用紙を取り除くときは、そのまま引き出してドラムユニットごと取り外してください。トナーカートリッジだけ取り外すときは、右側にある緑色のレバーを押し下げてから引き出します。

2. ドラムユニット

ドラムユニットを交換する必要があるときは、画面にメッセージが表示されます。

画面に表示されるメッセージの詳細は、P.164 「消耗品の補給と交換」 を参照してください。

本体内部（背面）



CZF004

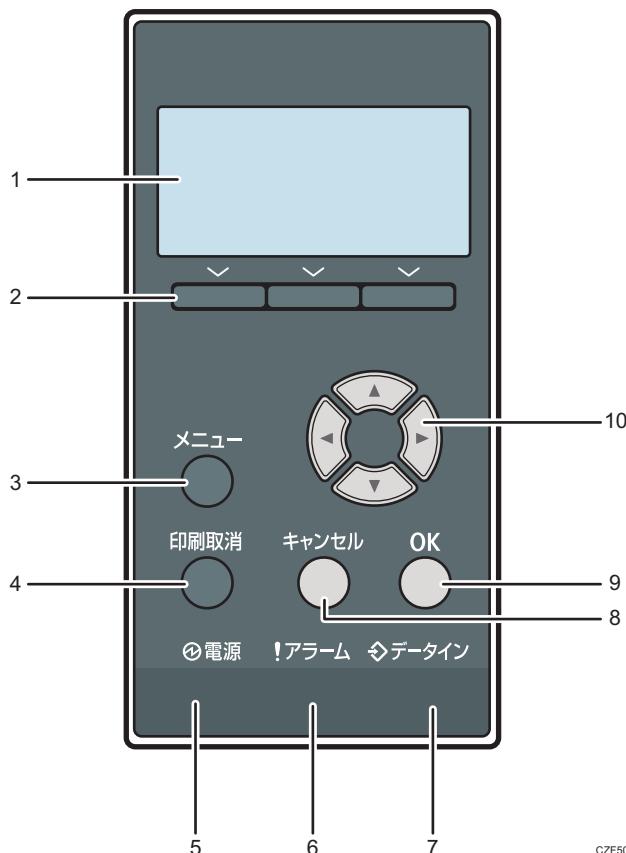
1. 定着ユニット

用紙詰まりを取り除くときに、両側にあるレバーを上げてから取り外します。

定着ユニットを交換する必要があるときは、画面にメッセージが表示されます。
定着ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。

操作部の名称とはたらき

1



CZF501

1. 画面

本機の状態やエラーメッセージが表示されます。

2. 選択キー

画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

3. [メニュー] キー

設定を変更したり、現在の設定を確認したりするときに押します。

4. [印刷取消] キー

印刷中または受信中のデータを取り消すときに押します。

5. 電源ランプ

電源が入っているときに点灯します。電源が切れているときは消灯します。

1. 本機のご利用にあたって

1

6. アラームランプ

エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

- 赤点灯：印刷ができないか、印刷ができてもきれいな印刷結果が得られないことがあります。消耗品を交換してください。
- 黄点滅：消耗品の交換時期が近づいています。

画面に表示されたエラーの内容を確認して対処してください。

7. データインランプ

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

8. [キャンセル] キー

設定を確定させないで前の画面に戻るときや、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

9. [OK] キー

設定や設定値を確定させるとき、または次のメニューに移動するときに押します。

10. スクロールキー

[▲] [▼] [▶] [◀] を押して、カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させたりします。

操作画面の名称とはたらき



CZF909

1. ステータスマッセージ

本機の状態やメッセージが表示されます。

2. [印刷取消]

選択キーを押すと、印刷中または受信中のデータを取り消します。

3. [サプライ情報]

選択キーを押すと、本機の消耗品および用紙の残量を確認できます。

ダウンロードできるソフトウェア

本機と連携して使用できるソフトウェアについて説明します。

1

Ridoc IO Device Manager Accounting/ Ridoc IO Device Manager Lite でできること

Ridoc IO Device Manager Lite/ Ridoc IO Device Manager Accounting はネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターを管理できます。ネットワーク管理者の方が使用することをお勧めします。

Ridoc IO Device Manager Lite/ Ridoc IO Device Manager Accounting は、リコーのホームページからダウンロードできます。

- Ridoc IO Device Manager Accounting
http://www.ricoh.co.jp/software/elm/device_manager_ac/
- Ridoc IO Device Manager Lite
http://www.ricoh.co.jp/software/elm/device_manager_lt/

↓ 補足

- Ridoc IO Device Manager Lite/ Ridoc IO Device Manager Accounting については、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- Ridoc IO Admin、Ridoc IO Analyzer のデータを引き継ぎ、Ridoc IO Device Manager Lite/ Ridoc IO Device Manager Accounting を使用することができます。

Ridoc Desk Navigator Lt でできること

アプリケーションで作成したファイル、スキャナーで読み取った画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷できます。

Ridoc Desk Navigator は、リコーのホームページからダウンロードできます。

http://support.ricoh.com/bbv2/html/dr_ut_d/doc_sol/index.htm

↓ 補足

- 詳しくは、Ridoc Desk Navigator のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi でできること

ネットワークプリンターの環境を簡単に構築できます。また、ネットワーク上のリコー製プリンターの稼働状態を、パソコンから簡単に確認できます。

Ridoc IO Navi は、リコーのホームページからダウンロードできます。

1. 本機のご利用にあたって

<http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/utility/ionavi/>

 補足

- 詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

2. 本機のセットアップ

本機のセットアップとオプションの接続について説明します。

本機をセットアップするときの流れ

本機のセットアップは、以下の手順に沿って実施してください。

2

1. 設置場所を確認します。

詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

2. 開梱します。

- ・保護材や固定テープを本機から取り外します。
- ・同梱品を確認します。

詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

3. オプションを装着します。

詳しくは P.26 「オプションを取り付ける」を参照してください。

4. 用紙をセットします。

詳しくは P.39 「用紙をセットする」を参照してください。

5. 電源コードを接続します。

詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

6. テスト印刷を実行し、本機が正常に動作するか確認します。

詳しくは P.36 「テスト印刷する」を参照してください。

7. インターフェースケーブルを接続します。

詳しくは P.31 「パソコンに接続する」を参照してください。

8. ネットワークの設定を変更します。

詳しくは P.34 「ネットワークの設定」を参照してください。

9. プリンタードライバーをインストールします。

詳しくは『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

オプションを取り付ける

オプションを取り付けると給紙容量を増やせます。各オプションについては、P.169「関連商品一覧」を参照してください。

△注意

2



- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

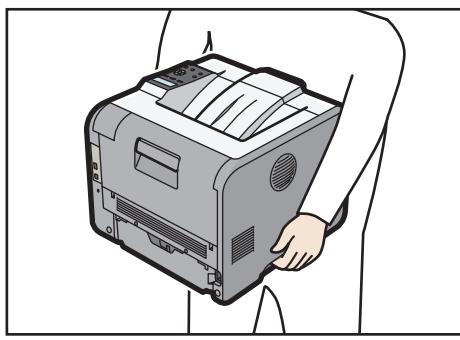
増設トレイを取り付ける

△注意



- プリンター本体は約 15kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

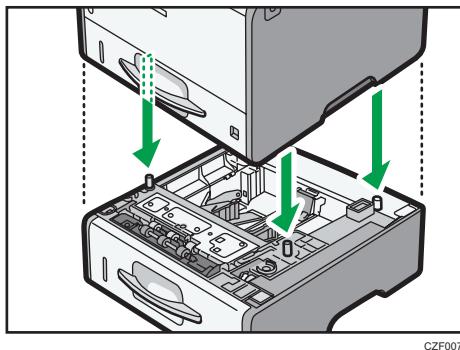
- 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 増設トレイから保護材を取り外します。
- 本機の両側面にある運搬用の取っ手を持ってゆっくりと持ち上げ、増設トレイまで水平に運びます。



CZF086

本機を持ち上げるときは、給紙トレイの部分や手差しトレイの下側を持たないでください。

4. 増設トレイには3本の垂直ピンがついています。本機の底面にある穴に垂直ピンを合わせ、増設トレイの上に本機をゆっくりと下ろします。



5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。
6. システム設定リストを印刷して、増設トレイが正しく取り付けられたことを確認します。

正しく取り付けされているときは、システム設定リストの「給紙トレイ」の欄に「トレイ2」が印刷されます。

▼ 補足

- ・システム設定リストの印刷方法は、P.36「テスト印刷する」を参照してください。
- ・正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に連絡してください。
- ・取り付けた増設トレイを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーアインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。

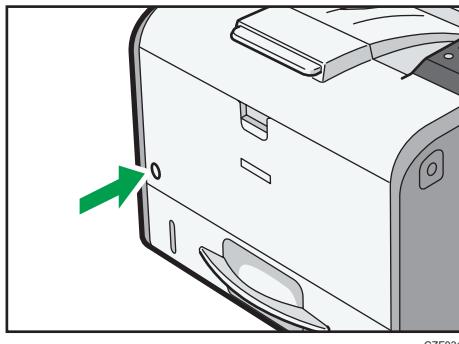
電源の入れかた、切りかた

本機の電源の入れかた、切りかたについて説明します。

電源の入れかた

2

1. 電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認します。
2. 電源スイッチを押します。



CZF031

操作部の電源ランプが点灯します。

電源の切りかた

⚠ 注意

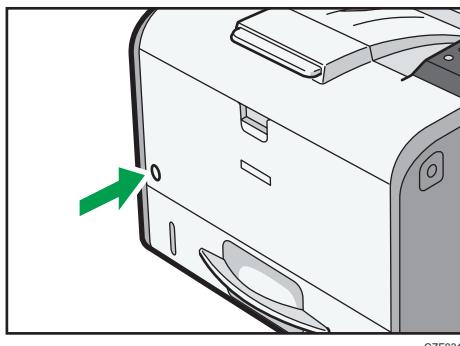


- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★ 重要

- 本機の電源を切るときは、電源スイッチを押し続けないでください。電源スイッチを押し続けると電源が強制的に切れるため、メモリーが破損して故障の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源ランプが消灯したことを確認してください。
- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。

1. 電源スイッチを押します。



2

シャットダウンの処理が終了すると自動的に電源ランプが消灯し、本機の電源が切れます。

10分経っても電源が切れないときは、サービス実施店に連絡してください。

節電

本機は節電のために、次の省エネ機能を搭載しています。

スリープモード

一定時間本機を操作しなかったときに、[スリープモード設定]で設定した時間が経過すると、消費電力を抑えるスリープモードに移行します。

スリープモード中でもパソコンから受信したデータを印刷できます。

[スリープモード設定]については、P.85「時刻タイマー設定」参照してください。

スリープモードから復帰するには、操作部のいずれかのキーを押してください。

補足

- 次のようなときは、省エネ機能がはたらきません。
 - 外部の機器と通信中のとき
 - 警告画面が表示されているとき
 - サービスコールが点灯しているとき
 - 用紙がつまっているとき
 - トナー補給が表示されているとき
 - トナー補給中のとき
 - 「初期設定」画面が表示されているとき
 - リモートサービス通報画面が表示されているとき
 - 定着ウォームアップ中のとき
 - データ処理中のとき

- 印刷途中で動作が中断中のとき
- データインランプが点灯・点滅しているとき
- スリープモード中は印刷が始まるまで多少時間がかかります。

パソコンに接続する

ネットワークやパソコンとの接続方法を説明します。

イーサネットインターフェースに接続する

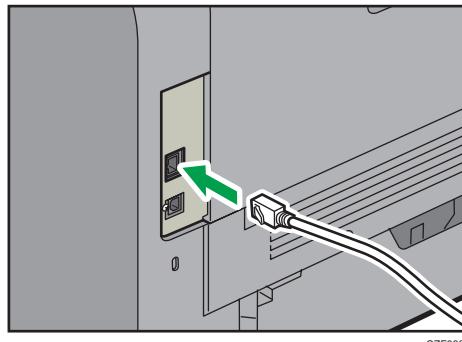
2

イーサネットインターフェースには、100BASE-TX、または10BASE-Tケーブルを接続します。

★ 重要

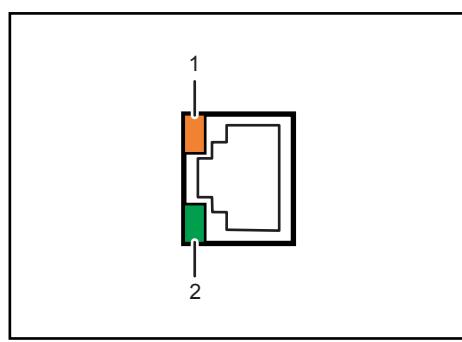
- 本機の電源が入っているときは、電源スイッチを押して本機の電源を切ってください。

1. イーサネットケーブルを、本機のイーサネットインターフェースに接続します。



2. イーサネットケーブルのもう一方をネットワーク接続用のHubなどに接続します。

3. 本機の電源スイッチを押して電源を入れます。



1. 100BASE-TX動作時はLEDが黄色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは10BASE-T動作時は消灯します。

2. 本機のセットアップ

2. 10BASE-T 動作時は LED が緑色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは 100BASE-TX 動作時は消灯します。

補足

- ・プラグの形状を見て接続してください。
- ・ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- ・プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できないことがあります。

2

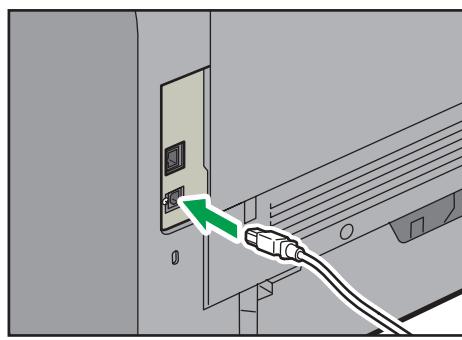
USB (B コネクター) インターフェースに接続する

本機を USB プリンターとしてパソコンから使用するときは、USB (B コネクター) インターフェースにケーブルを接続します。

重要

- ・本機の電源が入っているときは、電源スイッチを押して本機の電源を切ってください。

1. USB 2.0 用 (B コネクター) インターフェースケーブルを本機の USB ポート B に接続します。



GZF033

2. パソコンに USB 2.0 用インターフェースケーブルを接続します。

補足

- ・USB 2.0 用 (B コネクター) インターフェースケーブルは、使用するパソコンやコネクターの形状に合わせて別途用意してください。
- ・USB 2.0 用 (B コネクター) インターフェースに対応した 5m 以下のケーブルを使用してください。
- ・ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- ・プラグの形状を見て接続してください。

- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できないことがあります。

ネットワークの設定

イーサネットを使用する

2

本機をネットワークに接続するときは、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

ネットワーク設定が完了したら、「システム設定リスト」を印刷して設定が正しいかを確認します。印刷手順は、P.36「テスト印刷する」を参照してください。

★ 重要

- ・[ネットワーク] メニューでの設定が完了したら、セキュリティーを設定してください。セキュリティーの設定については、管理者に問い合わせてください。

↓ 補足

- ・設定項目と工場出荷時の値については、P.86「インターフェース設定」を参照してください。

IP アドレスを手動で指定する

DHCP サーバーのない環境で本機を使用するときや、IP アドレスを固定したいときなどに、IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。設定する IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [システム初期設定] ▶ [OK]
2. [インターフェース設定] ▶ [OK]
3. [ネットワーク] ▶ [OK]
4. [有効プロトコル] ▶ [OK]
5. [IPv4] ▶ [OK]
6. [有効] ▶ [OK] ▶ [キャンセル]
7. [本体 IPv4 アドレス] ▶ [OK] ▶ [指定]
8. [IP アドレス] ▶ IP アドレスを入力 ▶ [OK]
9. [サブネットマスク] ▶ サブネットマスクを入力 ▶ [OK]
10. [指定] が選択されていることを確認 ▶ [OK]
11. [IPv4 ゲートウェイアドレス] ▶ [OK] ▶ ゲートウェイアドレスを入力 ▶ [OK]

IP アドレスを自動的に取得する (DHCP)

DHCP 機能を使用して、IP アドレスを自動取得する手順を説明します。DHCP 機能を使用するには、使用している環境に DHCP サーバーが必要です。DHCP 機能が使用できるかは、ネットワーク管理者に確認してください。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [システム初期設定] ▶ [OK]
2. [インターフェース設定] ▶ [OK]
3. [ネットワーク] ▶ [OK]
4. [本体 IPv4 アドレス] ▶ [OK]
5. [自動的に取得 (DHCP)] ▶ [OK]

2

通信速度を設定する

イーサネットの通信速度は、使用する環境（接続先の機器）を確認してから、設定してください。



- インターフェースの種別が接続する機器と一致しないと接続できません。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [システム初期設定] ▶ [OK]
2. [インターフェース設定] ▶ [OK]
3. [ネットワーク] ▶ [OK]
4. [イーサネット速度] ▶ [OK]
5. 通信速度を選択 ▶ [OK]

テスト印刷する

ネットワーク設定が完了したら、「システム設定リスト」を印刷して設定が正しいかを確認します。ネットワークの設定手順は、P.34「ネットワークの設定」を参照してください。

2

重要

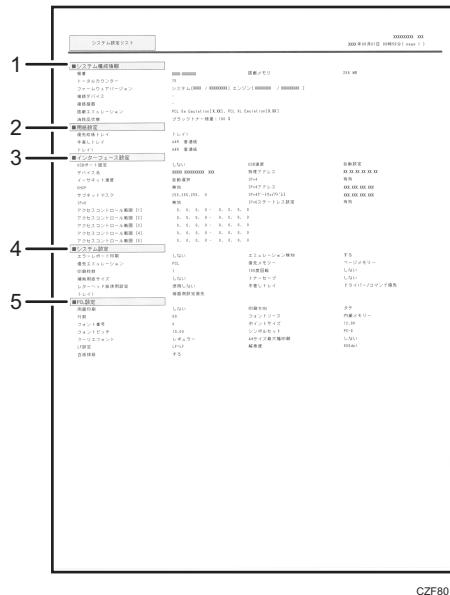
- リストは A4 または Letter サイズへの印刷を前提にレイアウトされています。給紙トレイのいずれかに、A4（または Letter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

- [プリンター初期設定] ▶ [OK]
- [テスト印刷] ▶ [OK]
- [システム設定リスト] ▶ [OK]
- [印刷]

システム設定リストの見かた

システム設定リストの印刷例です。



CZF601

1. システム構成情報

- 機番

本機に割り当てられた番号です。

- **搭載メモリ**
本機に搭載されたメモリーの容量です。
- **トータルカウンター**
本機で印刷したページの総数です。
- **ファームウェアバージョン**
 - **システム**
システムファームウェアのバージョンです。
 - **エンジン**
エンジンファームウェアのバージョンです。
- **接続デバイス**
本機に装着した内部オプションです。
- **接続機器**
本機に装着した外部オプションです。
- **搭載エミュレーション**
本機に装着したプリンター言語とバージョンです。
- **消耗品状態**
トナーの残量です。

2. 用紙設定

用紙の設定に関する項目と設定値です。

3. インターフェース設定

インターフェースの設定に関する項目と設定値です。

4. システム設定

[プリンター初期設定] にある [システム設定] メニューの項目と設定値です。

5. PCL 設定

[プリンター初期設定] にある [PCL 設定] メニューの項目と設定値です。

3. 用紙をセットする

使用する用紙のサイズ、種類、厚さごとに、セットできる給紙トレイについて説明します。また各給紙トレイに用紙をセットする方法を説明します。

用紙をセットするときの流れ

本機で正しく印刷するには、使用する用紙のサイズ、種類、および厚さに合った給紙トレイの選択が必要です。使用する用紙がどの給紙トレイにセットできるかを確認し、操作部などから用紙のサイズや種類を正しく指定してください。

3

1. 使用する用紙のサイズ、種類、厚さから、どの給紙トレイにセットできるかを確認します。

各用紙に対応した給紙トレイについては、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

2. 用紙をセットする給紙トレイを決めたら、本機の用紙サイズ設定と用紙種類設定を変更します。

用紙サイズ設定と用紙種類設定は、操作部またはWeb Image Monitorで変更します。給紙トレイ1～2に用紙をセットするときは、給紙トレイの用紙サイズダイヤルも変更します。

操作部の設定については、P.59「用紙の設定」を参照してください。

3. 給紙トレイに用紙をセットします。

用紙のセット方法は、P.46「給紙トレイに用紙をセットする」またはP.51「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

はがきや封筒のセット方法は、P.54「はがきをセットする」またはP.56「封筒をセットする」を参照してください。

セットできる用紙のサイズ

各用紙サイズに対応した給紙トレイは次の表のとおりです。「用紙サイズ名」の列には用紙サイズの名称、「実寸」の列にはそのサイズの寸法を記載しています。「用紙サイズ名」の列の□および□は、本機を正面から見たときにセットできる用紙の向きを表しています。表内の英文字と記号は次の意味を表しています。

3

- A : 操作部から用紙サイズを指定します。
- B : 給紙トレイの用紙サイズダイヤルで用紙サイズを指定します。
- C : 給紙トレイの用紙サイズダイヤルを「*」に設定し、操作部から用紙サイズを指定します。
- ✓ : 両面印刷できます。
- - : この用紙サイズは使用できません。

定形用紙サイズ（ミリメートル）

用紙サイズ名	実寸	手差しトレイ	トレイ1	トレイ2	両面印刷
A4□	210 × 297 mm	A	B	B	✓
A5□	148 × 210 mm	A	B	B	-
A5□	148 × 210 mm	A	B	B	-
A6□	105 × 148 mm	A	B	B	-
B5□	182 × 257 mm	A	B	B	-
B6□	128 × 182 mm	A	C	C	-
B6□	128 × 182 mm	A	-	-	-
洋形2号□	114 × 162 mm	A	-	-	-
郵便はがき□	100 × 148 mm	A	-	-	-
往復はがき□□	148 × 200 mm	A	-	-	-
長形3号□	120 × 235 mm	A	C	-	-
長形4号□	90 × 205 mm	A	-	-	-
洋長3号□	120 × 235 mm	A	C	-	-
洋形4号□	105 × 235 mm	A	C	-	-

定形用紙サイズ（インチ）

用紙サイズ名	実寸	手差しトレイ	トレイ1	トレイ2	両面印刷
8 ¹ / ₂ × 14□	8.5" × 14"	A	C	C	✓
8 ¹ / ₂ × 11□	8.5" × 11"	A	B	B	✓
5 ¹ / ₂ × 8 ¹ / ₂ □	5.5" × 8.5"	A	C	C	-

用紙サイズ名	実寸	手差しトレイ	トレイ1	トレイ2	両面印刷
5 ¹ / ₂ × 8 ¹ / ₂ □	5.5" × 8.5"	A	-	-	-

定形以外でも幅と長さを指定すれば使用できます。

各給紙トレイに対応した幅と長さは次の表のとおりです。

不定形サイズ（ミリメートル）

給紙トレイ	幅（片面印刷）	長さ（片面印刷）	幅（両面印刷）	長さ（両面印刷）
手差しトレイ	60.0～216.0 mm	127.0～900.0 mm	100.0～216.0 mm	279.0～356.0 mm
給紙トレイ1～2	100.0～216.0 mm	148.0～356.0 mm	100.0～216.0 mm	279.0～356.0 mm

不定形サイズ（インチ）

給紙トレイ	幅（片面印刷）	長さ（片面印刷）	幅（両面印刷）	長さ（両面印刷）
手差しトレイ	2.37"～8.50"	5.00"～35.43"	3.94"～8.50"	10.99"～14.01"
給紙トレイ1～2	3.94"～8.50"	5.83"～14.01"	3.94"～8.50"	10.99"～14.01"

セットできる用紙の種類

各用紙種類に対応した給紙トレイは次の表のとおりです。各用紙種類には対応する用紙の厚さが設定されています。「用紙の厚さ」の表と合わせて参考し、使用する用紙に適した用紙種類を確認してください。

表内の英文字と記号は次の意味を表しています。

- A : 使用できます。
- ✓ : 両面印刷できます。
- - : 使用できません。

3

用紙種類	厚さ番号	手差しトレイ	トレイ1	トレイ2	両面印刷
薄紙	1	A	A	A	✓
普通紙	2	A	A	A	✓
普通紙2	3	A	A	A	✓
中厚口	4	A	A	A	✓
厚紙1	5	A	A	A	✓
厚紙2	6	A	A	A	✓
再生紙	2~3	A	A	A	✓
色紙	2~3	A	A	A	-
特殊紙1	-*1	A	A	A	✓
特殊紙2	-*1	A	A	A	-
レターへッド紙	1~6	A	A	A	✓
印刷済み紙	2~3	A	A	A	-
ラベル紙	3~5	A	A	A	-
封筒	3~6	A	A	-	-
OHP	-*1	A	-	-	-

*1 紙厚を設定する必要はありません。

用紙の厚さ

厚さ番号	厚さ
1	52~65 g/m ²
2	66~74 g/m ²
3	75~90 g/m ²
4	91~105 g/m ²

厚さ番号	厚さ
5	106～130 g/m ²
6	131～162 g/m ²

↓ 補足

- ・[厚紙 2] を選択したときは印刷速度が通常よりも遅くなります。

用紙をセットするときの注意事項

⚠ 注意



- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

注意事項

3

- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。
- トレイに少量の用紙が残っている状態で用紙を補給すると、紙が重なって送られることがあります。トレイ内の用紙を一度取り出して、補給する用紙とともに、パラパラとさばいてからセットし直してください。
- カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- トレイにセットできる用紙サイズ、種類については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
- 使用する環境により、まれに用紙のこすれによる異音が発生することがあります。本機の故障ではありません。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。故障や紙づまりの原因になります。

- インクジェット用紙/ジェルジェット用紙、感熱紙、アート紙、導電性の用紙、ミシンがけ用紙、ふちどり用紙、窓付き封筒
- そり、折れ、しづわのある用紙、穴があいている用紙、ツルツルすべる用紙、破れたある用紙、すべりにくい用紙、薄くてやわらかい用紙、表面に紙粉が多い用紙

💡 補足

- 一度印刷した用紙の印刷面に、再度印刷しないでください。故障の原因になります。
- 推奨用紙を使用したときでも、用紙の保管状態によっては、紙づまりなどが発生することがあります。
- 目の粗い用紙または凹凸のある用紙に印刷すると画像がかずれことがあります。
- 本機以外で一度印字された用紙は再使用しないでください。
- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなることがあります。

用紙の保管

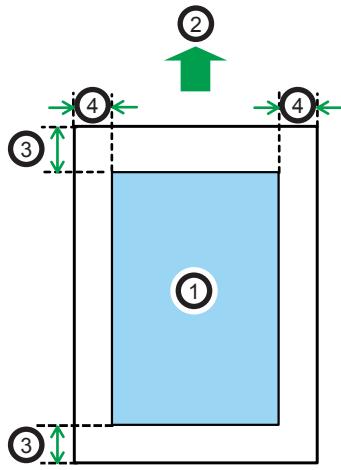
用紙の保管には、次の注意事項を守ってください。

- 直射日光の当たらないところに置いてください。

- ・乾燥したところ（湿度70%以下）に置いてください。
- ・平らなところに置いてください。
- ・用紙は立てかけないでください。
- ・一度開封した用紙は湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。

印刷範囲

本機の推奨印刷範囲は以下の図のとおりです。



CEC244

3

1. 印刷範囲

2. 紙方向

3. 4.2 mm

4. 4.2 mm

補足

- ・印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって異なることがあります。
- ・プリンタードライバーの設定によっては推奨印刷範囲外に印刷できますが、思いどおりの印刷結果が得られない、または用紙が正しく送られないことがあります。

給紙トレイに用紙をセットする

トレイ 1 に用紙をセットする方法を例に説明します。

△注意



- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

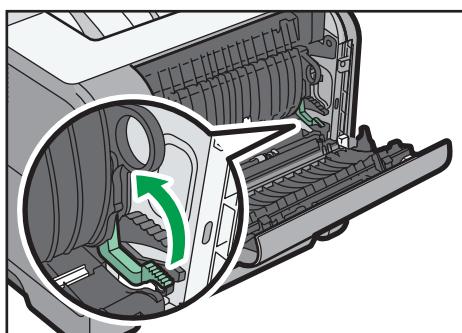


- 封筒レバーを操作する時には、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

3

★ 重要

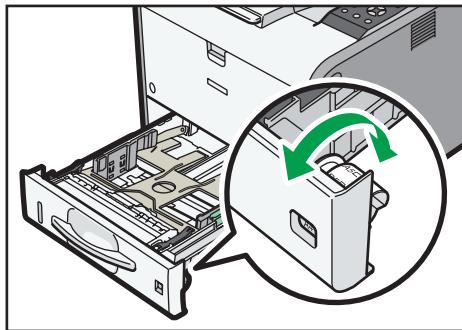
- 使用する用紙に対応した給紙トレイについては、P.40 「セットできる用紙のサイズ」または P.42 「セットできる用紙の種類」を参照してください。
- セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、機械内部を汚したり、思い通りの印刷ができない原因になります。印刷をするときは、プリンタードライバーで用紙サイズと用紙種類を本機の設定に合わせてください。
- 用紙サイズダイヤルにない用紙サイズと印刷方向を使用するときは、用紙サイズダイヤルを「*」に設定し、操作部で用紙サイズを指定してください。
- セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 頻繁に紙づまりが発生するときは、用紙の表と裏を逆にしてセットしてください。
- 1つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- 給紙トレイ内の用紙を使い切る前に、用紙を追加してセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- サイドガイドやエンドガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。
- 用紙をセットした給紙トレイを本機にセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドがずれることがあります。
- ラベル紙は1枚ずつセットしてください。
- 工場出荷時は封筒レバーが下がっている状態になっています。封筒以外の用紙に印刷するときは、封筒レバーが垂直になるようにきちんと押し上げ、奥まで押し込んでください。



CYN916

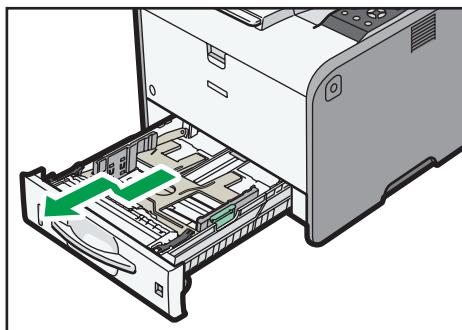
3

1. 紙トレイをゆっくりと引き出し、セットする用紙サイズと給紙方向に用紙サイズダイヤルを合わせます。



CZF027

2. 紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

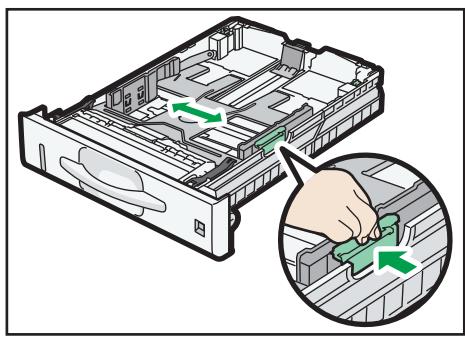


CZF028

給紙トレイは平らな場所に置いてください。

3. 用紙をセットする

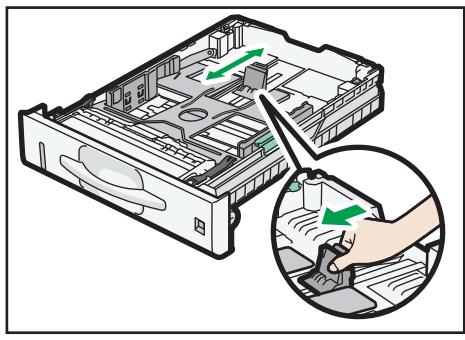
3. サイドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。



CXC613

3

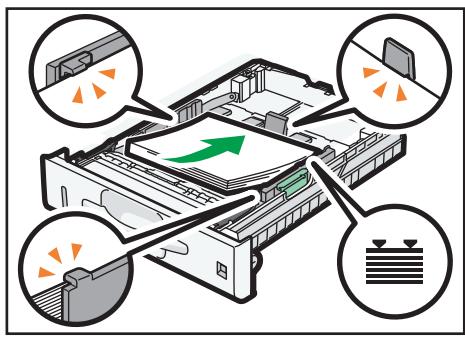
4. エンドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。



CXC614

5. 印刷する面を下にして用紙をセットします。

上限表示を超えないようにしてください。



CXC666

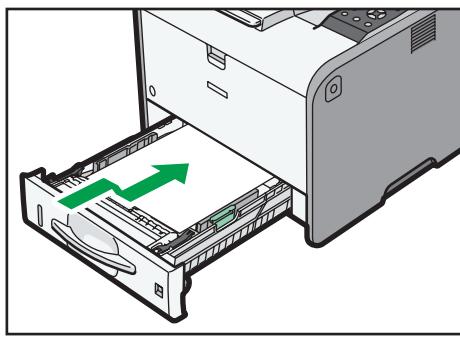
6. サイドガイドとエンドガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。

用紙とサイドガイドやエンドガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、サイドガイドやエンドガイドを操作して調整してください。

用紙ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

セットした用紙を給紙トレイの中で大きく動かさないでください。トレイ底板の隙間に用紙端部が入り、紙づまりや用紙折れの原因になります。

7. 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



CZF029

紙づまりを防止するため、しっかり奥までトレイを入れてください。

補足

- 給紙トレイ 1 に A4 より大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。引き出し方法は、P.49 「A4 より大きい用紙をセットするとき」を参照してください。
- トレイ 1 には封筒をセットできます。正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.56 「封筒をセットする」を参照してください。
- レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.53 「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

A4 より大きい用紙をセットするとき

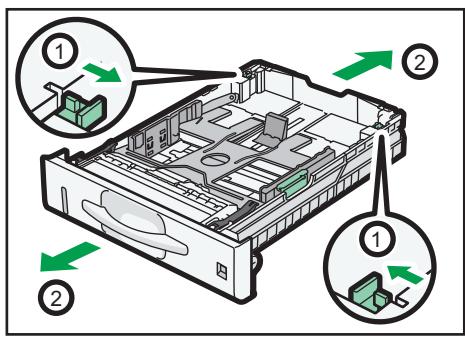
給紙トレイ 1 に A4 より大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。

1. 給紙トレイを完全に引き出します。

詳しくは、P.46 「給紙トレイに用紙をセットする」の手順 1 と手順 2 を参照してください。

3. 用紙をセットする

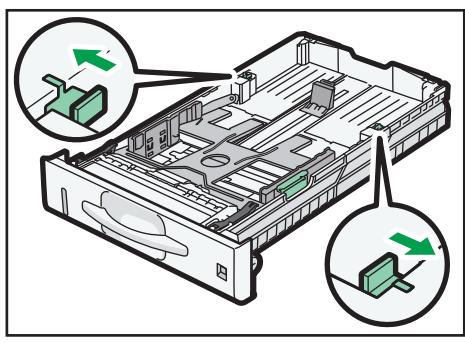
2. 延長トレイの2箇所のロックを内側にスライドさせて外し、延長トレイを止まるまで引き出します。



3

3. 延長トレイの2箇所のロックを外側にスライドさせてロック位置に戻します。

延長トレイがきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。



↓ 補足

- A4以下のサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを使用しないでください。

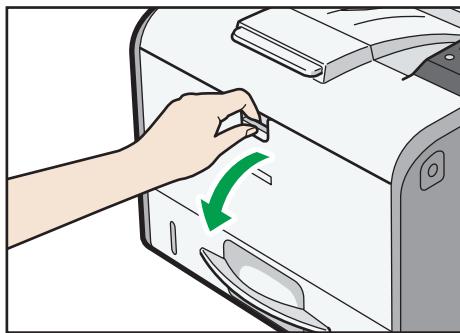
手差しトレイに用紙をセットする

給紙トレイにセットできないサイズや厚さの用紙をセットできます。

★ 重要

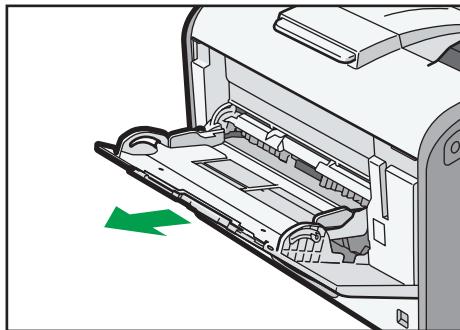
- 使用する用紙に対応した給紙トレイについては、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
- 用紙をセットしたら、操作部やドライバーで正しい用紙サイズ・種類と向きを指定してください。正しく印刷されない原因になります。
- セットする用紙の量は、手差しトレイに示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- トレイに異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- ラベル紙は1枚ずつセットしてください。
- A4口以上の大さの用紙は1枚ずつセットし、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られかたや画質が異なりますので、事前に使用する用紙で印刷結果を確認してください。

- 手差しトレイ中央の手差しトレイオープンボタンを押し下げながら、手差しトレイを開きます。



CZF036

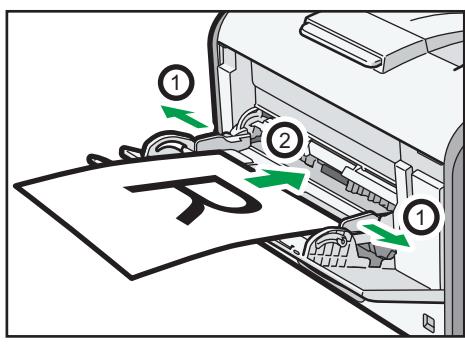
A4口より長い用紙をセットするときは、延長ガイドを引き出します。



CZF037

3. 用紙をセットする

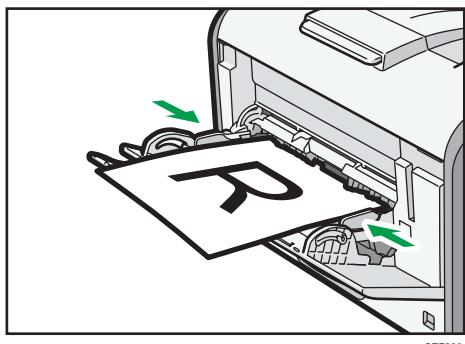
2. 用紙ガイドを広げ、印刷する面を上にして、用紙の先端が突き当たるまで差し込みます。



CZF038

3

3. 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。



CZF039

↓ 補足

- 手差しトレイにセットするときは、できるだけ□方向にセットしてください。
- はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.54「はがきをセットする」またはP.56「封筒をセットする」を参照してください。
- レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.53「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする

レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しく印刷されないことがあります。使用する機能に合わせて、次のように設定を変更してください。また、用紙を正しくセットしてください。

操作部の設定

[レターヘッド紙使用設定] を [使用する（自動判定）] に設定してください。設定項目については、P.97「システム設定」を参照してください。

用紙のセット方向

使用しているアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
	印刷する面を上にセットしてください。
	印刷する面を下にセットしてください。

印刷面	トレイ 1~2	手差しトレイ
片面		
両面		

補足

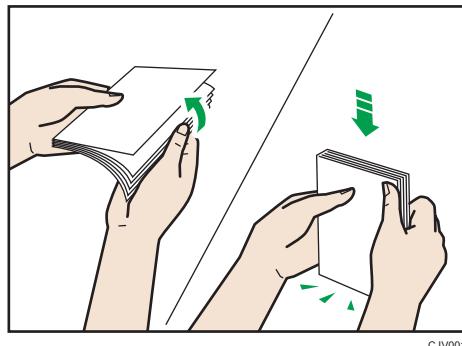
- [レターヘッド紙使用設定] を [使用する（自動判定）] に設定してレターヘッド紙を印刷するときは、プリンタードライバーの設定で用紙種類を [レターヘッド付き用紙] に指定してください。
- 両面印刷の方法は、P.67「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

はがきをセットする

はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

★ 重要

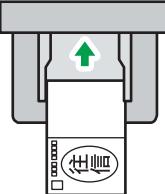
- 市販の郵便はがきがセットできます。
- 往復はがきは折り目のないものを使用してください。
- 用紙がカールしていると、紙づまりの原因になったり、印刷品質に影響が出たりします。トレイ上で上向きの反り 2mm 以内、下向きの反り 0mm になるように直してからセットしてください。
- はがきをセットするときは、パラパラとさばいてから端をそろえてください。



CJV001

はがきの種類やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、必ずはがきのセット方向を確認してください。

はがきの種類と向き	手差しトレイ
郵便はがき□ 	<ul style="list-style-type: none"> • はがきの下辺：手前側 • 印刷する面：上
往復はがき□ 	<ul style="list-style-type: none"> • はがきの下辺：手前側 • 印刷する面：上

はがきの種類と向き	手差しトレイ
往復はがき□ 	 • はがきの下辺：右側 • 印刷する面：上

▼ 補足

- はがきに印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- 郵便はがきの厚紙の種類は【厚紙 2】をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定での実際の用紙厚さについては、P.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

封筒をセットする

封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

⚠ 注意



- 封筒レバーを操作する時には、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

3

★ 重要

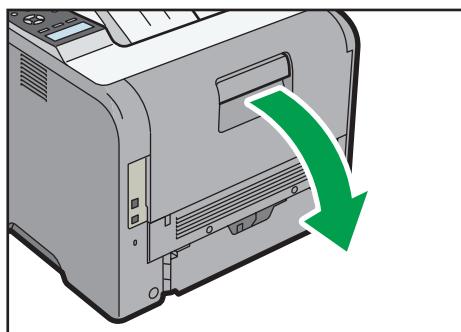
- 窓付き封筒は使用しないでください。
- のり付き封筒は、のりで封筒同士が貼りつくことがあります。さばいてからセットしてください。封筒同士が貼りつくときは、1枚ずつセットしてください。
- 封筒のフラップ（ふた）の長さや形状によっては紙づまりが起こることがあります。
- フラップを開いた状態でセットしたときは、不定形サイズを指定してください。
- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒がそっていたり曲がっているときは、鉛筆や定規で上向きの反りが2mm以内、下向きの反りが0mmになるように直してからセットしてください。

封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。封筒に印刷するときは、必ず封筒のセット方向を確認してください。

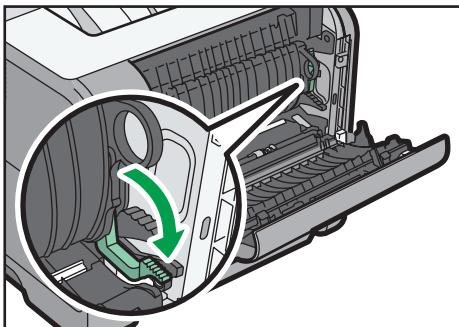
封筒レバーを使用する

封筒をセットする前に、封筒レバーを下げてください。

1. 後ろカバーを開けます。



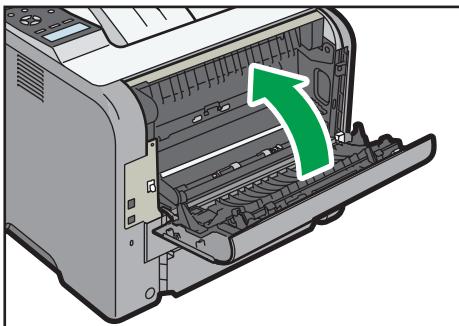
2. 封筒レバーを一番下まで下げます。



CYN113

3

3. 後ろカバーを閉めます。



CZF114

補足

- 封筒の印刷が終わったら、必ず封筒レバーを上げてください。

封筒のセット方向

封筒の種類と向き	給紙トレイ 1	手差しトレイ
角形/長形封筒口 	<ul style="list-style-type: none"> • フラップ：開く • 封筒の下辺：手前側 • 印刷する面：下 	<ul style="list-style-type: none"> • フラップ：開く • 封筒の下辺：後ろ側 • 印刷する面：上
洋形/洋長形封筒口 	<ul style="list-style-type: none"> • フラップ：閉じる 	<ul style="list-style-type: none"> • フラップ：閉じる • 封筒の下辺：右側

3. 用紙をセットする

封筒の種類と向き	給紙トレイ 1	手差しトレイ
	<ul style="list-style-type: none">封筒の下辺：右側印刷する面：下	<ul style="list-style-type: none">印刷する面：上

封筒をセットしたあと、プリンタードライバーと操作部の両方で、用紙の種類を「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。詳しくは、P.75 「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

使用できる封筒

3

使用できる封筒については、リコーサービスホームページ (<http://www.ricoh.co.jp>) を確認するか、販売店・サービス実施店に問い合わせてください。

トレイによってセットできる封筒サイズが異なります。詳しくは、P.40 「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。

▼ 補足

- トレイに一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
- 封筒には両面印刷できません。
- 周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3枚通紙して、印刷結果を確認してください。
- 封筒に印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 湿気を吸った封筒は使用しないでください。
- 推奨封筒でも、高温になるところや湿気の多いところで印刷すると、しわが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
- 封筒の長辺の端に細かいしわができると排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ばかりで印刷されることがあります。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。
- 洋形/洋長形封筒でしわが発生するときは、封筒のセット方向の表で「角形/長形封筒」と同じ向きに封筒をセットしてください。

用紙の設定

操作部で用紙サイズや用紙種類を変更する方法を説明します。

用紙サイズを設定する

★ 重要

- 使用する用紙サイズが用紙サイズダイヤルにないときは、用紙サイズダイヤルを「*」にセットし、必ず操作部でも用紙サイズを設定してください。
- 不定形サイズを印刷するときは、必ず操作部およびプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。
- 不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。

定形サイズを設定する

操作部の【メニュー】キーを押し、【▼】【▲】キーを使用して操作してください。

1. [用紙設定] ▶ [OK]
2. [プリンター手差し用紙サイズ] または [用紙サイズ設定:(トレイ名)] ▶ [OK]
3. トレイにセットした用紙のサイズを選択 ▶ [OK]

不定形サイズを設定する

操作部の【メニュー】キーを押し、【▼】【▲】キーを使用して操作してください。

1. [用紙設定] ▶ [OK]
2. [プリンター手差し用紙サイズ] または [用紙サイズ設定:(トレイ名)] ▶ [OK]
3. [不定形サイズ] ▶ [OK]
4. [ヨコ] の長さを指定 ▶ [OK]
5. [タテ] の長さを指定 ▶ [OK]

↓ 補足

- 各用紙サイズに対応したトレイについて詳しくは、P.40「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。

用紙種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切に印刷できます。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

3

1. [用紙設定] ▶ [OK]
2. [用紙種類設定：(トレイ名)] ▶ [OK]
3. トレイにセットした用紙の種類を選択 ▶ [OK]
4. [再生紙]、[色紙]、[レターヘッド]、[ラベル紙]、[封筒]、または [印刷済み紙] を選択したときは、[キャンセル] を押す
5. [調整/管理] ▶ [OK]
6. 選択した用紙種類の紙の厚さを設定する項目を選択 ▶ [OK]
7. 設定するトレイを選択 ▶ [OK]
8. 紙の厚さを選択 ▶ [OK]

↓ 補足

- 各用紙種類に対応したトレイについて詳しくは、P.42 「セットできる用紙の種類」 を参照してください。

操作部を使用してはがき、封筒を設定する

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [用紙設定] ▶ [OK]
2. [プリンター手差し用紙サイズ] または [用紙サイズ設定：トレイ 1] ▶ [OK]
3. [郵便ハガキ□]、[往復ハガキ□]、[往復ハガキ□]、または封筒のサイズを選択 ▶ [OK]
4. [用紙種類設定：(トレイ名)] ▶ [OK]
5. はがきのときは [厚紙 2]、封筒のときは [封筒] を選択 ▶ [OK]
はがきのときはここで設定が完了します。
6. 封筒のときは [キャンセル] を押す
7. [調整/管理] ▶ [OK]
8. [封筒設定] ▶ [OK]
9. 封筒をセットしたトレイを選択 ▶ [OK]
10. 紙の厚さを選択 ▶ [OK]

 補足

- はがきや封筒のセット方法は、P.54「はがきをセットする」または P.56「封筒をセットする」を参照してください。
- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。プリンタードライバーの設定については、P.75「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。
- 各用紙サイズ/種類に対応したトレイについては、P.40「セットできる用紙のサイズ」または P.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

3. 用紙をセットする

3

4. 印刷する

印刷方法や本機の動作の設定方法などについて説明します。プリンタードライバーから印刷する方法は、Windows 7 を例に説明しています。

プリンタードライバーの設定画面を開く

ドライバー設定画面を開く

プリンタードライバー画面の開きかたについて、Windows 7 を例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なります。

4

★ 重要

- ・プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
 - ・プリンターのプロパティの設定はユーザーごとに変更できません。プリンターのプロパティの設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの設定です。
1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
 2. 本機のアイコンを右クリックします。
 3. [プリンターのプロパティ] をクリックします。

[スタート] から印刷設定画面を開く

★ 重要

- ・プリントサーバーから配布されたドライバーを使用するときは、プリントサーバーで設定された [標準の設定] の内容が初期値として表示されます。
 - ・印刷設定はユーザーごとに変更できません。印刷設定画面の設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの初期値です。
1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
 2. 本機のアイコンを右クリックします。
 3. [印刷設定] をクリックします。

アプリケーションから開く

印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。

アプリケーションから印刷設定画面を開くと、[デバイスとプリンター] ウィンドウから表示される印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

画面の表示はアプリケーションによって異なります。ここでは Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. 画面左上のワードパッドメニュー ボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から本機を選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。

4

かんたん設定を使用する

よく使用する印刷機能の一部は、[かんたん設定] タブの「かんたん設定一覧：」に登録されています。メニューから設定名を選択するだけで、印刷方法を指定できます。

「かんたん設定」を使用するには、「かんたん設定一覧：」から、適用したい設定名をクリックします。設定名を選択するだけで登録されている設定内容が反映されるため、印刷するときに何箇所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしたりすることを防止できます。

「かんたん設定」は任意に追加、変更、削除できます。また、複数のメンバーで同じかんたん設定を共有して使用することもできます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録した「かんたん設定」を使うだけで、さまざまな機能を活用できます。

「かんたん設定」を登録するときは、以下の手順で操作してください。

1. 印刷設定画面を開きます。
2. 印刷の設定を必要に応じて指定します。
3. [かんたん設定に登録...] をクリックします。
4. 設定の名前とコメントを入力して [OK] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

補足

- 「かんたん設定」の変更や削除については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

プリンタードライバーのヘルプを表示する

ヘルプのトピックを表示する

プリンタードライバーの設定画面の【ヘルプ】ボタンをクリックすると、表示しているタブに対応する内容のトピックが表示されます。

プリンタードライバーの設定画面の表示項目についての説明を表示する

プリンタードライバーの設定画面右上にある?マークのボタンをクリックすると、ポインターの横に?マークが表示されます。

説明を見たい項目をクリックすると、対応する内容のトピックが表示されます。

基本的な印刷のしかた

★ 重要

- 本機がスリープモードのときにUSB 2.0経由で印刷すると、印刷できていても、印刷失敗のメッセージがパソコン上に表示されることがあります。正しく印刷されているかどうかを確認してください。

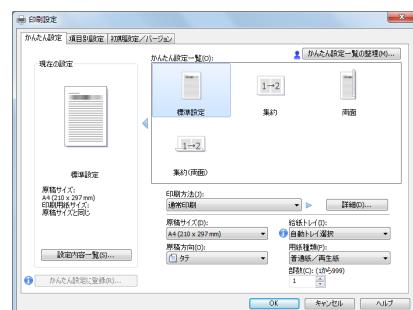
4

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

詳しくは、P.64「アプリケーションから開く」を参照してください。

2. [かんたん設定] タブが選択されていることを確認します。

3. 「かんたん設定一覧：」の【標準設定】をクリックし、以下の項目を設定します。



- 印刷方法：
[通常印刷] を選択します。
- 原稿サイズ：
印刷する文書のサイズを選択します。
- 原稿方向：
文書の印刷方向を選択します。
- 給紙トレイ：
使用する給紙トレイを選択します。
- 用紙種類：
給紙トレイにセットされている用紙の種類を選択します。
- 部数：
印刷部数を入力します。

- 「給紙トレイ：」で [自動トレイ選択] を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動で選択されます。
- 設定した内容は、[かんたん設定に登録...] ボタンから、かんたん設定として保存できます。

4. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

プリンタードライバーの【項目別設定】タブから便利な印刷機能を設定できます。詳しくは、P.67「便利な印刷機能」を参照してください。

5. [OK] をクリックします。

6. アプリケーションから印刷の指示をします。

便利な印刷機能

集約印刷やソートなど、プリンタードライバーで設定できる便利な印刷機能について説明します。

用紙の両面に印刷する

両面印刷の種類

用紙の一辺でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

原稿方向	左開き	上開き
タテ		
ヨコ		

両面印刷についての注意

- 両面印刷を設定できる用紙サイズ、用紙種類については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
- 1つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるときは、そのページの前で改ページすることができます。

補足

- プリンタードライバーでの設定については、P.72「編集」を参照してください。

複数のページを集約して印刷する

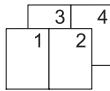
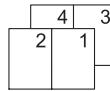
集約を設定すると、複数のページを縮小して1ページにまとめて印刷ができます。

集約印刷の種類

集約印刷で1ページにまとめることができるのは、2ページ、4ページ、6ページ、9ページ、16ページです。4ページ以上を1ページにまとめるとときは、4つのパターンからページの並べかたを選択できます。

ここでは2ページを1ページにまとめるときと、4ページを1ページにまとめるときを例に説明します。

- 2ページを1ページに集約

原稿方向	左から右／上から下	右から左／上から下
タテ		
ヨコ		

- 4 ページを 1 ページに集約

左上→右上→左下→右下	左上→左下→右上→右下	右上→左上→右下→左下	右上→右下→左上→左下
			

集約印刷についての注意

- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがあるときは、そのページの前で改ページします。
- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷するときは、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。

補足

- 集約印刷と製本印刷を組み合わせて使用するときは、P.69 「製本印刷する」 を参照してください。
- プリンタードライバーでの設定については、P.72 「編集」 を参照してください。

1 ページを複数枚に分けて印刷する

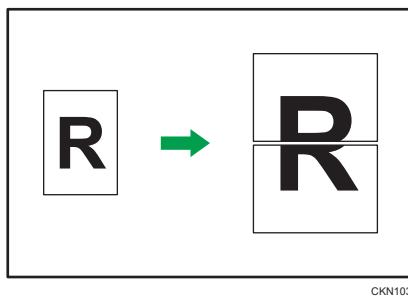
1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し（拡大連写）、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作れます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

拡大連写の種類

拡大連写で設定できる用紙の分けかたは次のとおりです。ここでは原稿の向きがヨのときを例に説明します。

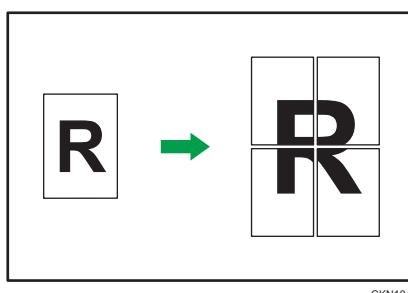
- 2 枚に分けて印刷

上下 2 枚に分割します。



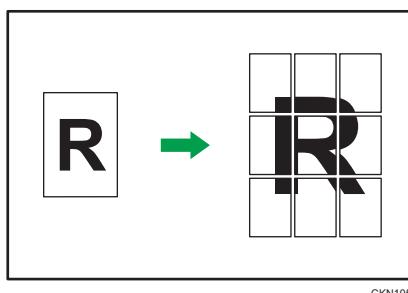
CKN103

- 4枚に分けて印刷
縦2枚、横2枚に分割します。



CKN104

- 9枚に分けて印刷
縦3枚、横3枚に分割します。



CKN105

4

拡大連写についての注意

- 拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。
- 拡大連写で印刷するとき、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

補足

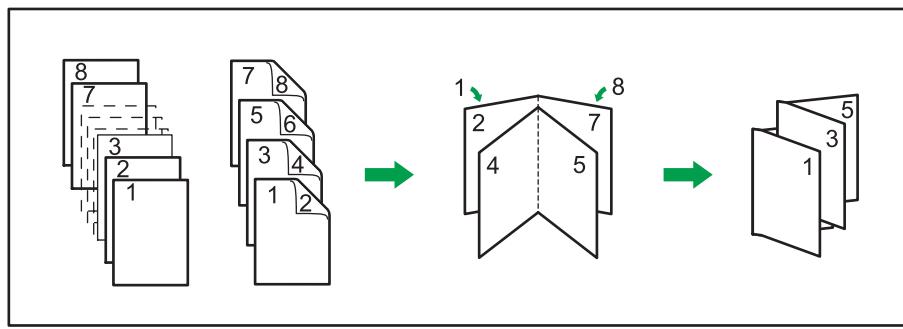
- プリンタードライバーでの設定については、P.72「編集」を参照してください。

製本印刷する

プリンタードライバーで用紙の中央でとじて印刷する方法を説明します。

週刊誌

用紙の中央でとじる形態で印刷できます。



4

製本印刷についての注意

- ・製本印刷（両面印刷）を設定できる用紙サイズ、用紙種類については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
- ・1つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるとき、そのページの前で改ページすることがあります。

↓ 補足

- ・製本印刷と集約印刷を組み合わせて使用するときは、P.67「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- ・プリンタードライバーでの設定については、P.72「編集」を参照してください。

部単位で印刷する

会議資料など複数部数の印刷をするとき、ページ順に仕分け（ソート）して印刷できます。パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込み、ソートします。

★ 重要

- ・約80ページまでソートできます。ソートできるページ数は、プリンタードライバーの種類や印刷条件によって増減することがあります。

ソート

1部ずつそろえて印刷します。



CKN0109

補足

- ・プリンタードライバーでの設定については、P.72「仕上げ」を参照してください。
- ・プリンタードライバーでソートの設定をするときに、[アプリケーションのソート]を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。[プリンターのソート]を指定して印刷してください。

トナーを節約して印刷する

トナーセーブ機能を使用する

トナーセーブ機能を使用すると、通常よりも薄い色で印刷されるため、トナーを節約できます。

補足

- ・プリンタードライバーでの設定については、P.73「印刷品質」を参照してください。

原稿に文字をスタンプする

プリンタードライバーでスタンプを設定すると、作成した文書に文字を重ねて印刷できます。

スタンプの種類

プリンタードライバーにはいくつかのスタンプ印字があらかじめ登録されています。利用できるスタンプ印字の種類は次のとおりです。

CONFIDENTIAL	マル秘	DRAFT	社外秘	COPY

↓ 補足

- ・プリンタードライバーでの設定については、P.73「効果」を参照してください。

便利な印刷機能を使用する

編集

4

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. [項目別設定] タブをクリックします。
3. 「メニュー項目：」で [編集] メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- ・集約：
集約印刷を設定します。詳しくは、P.67「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- ・両面：
両面印刷を設定します。詳しくは、P.67「用紙の両面に印刷する」を参照してください。
- ・製本：
製本印刷を設定します。詳しくは、P.69「製本印刷する」を参照してください。
- ・拡大連写：
拡大連写を設定します。詳しくは、P.68「1ページを複数枚に分けて印刷する」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. [OK] をクリックします。
5. アプリケーションから印刷の指示をします。

仕上げ

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. [項目別設定] タブをクリックします。
3. 「メニュー項目：」で [仕上げ] メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- ・ソート：

ソートを設定します。詳しくは、P.70 「部単位で印刷する」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. [OK] をクリックします。

5. アプリケーションから印刷の指示をします。

印刷品質

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

2. [項目別設定] タブをクリックします。

3. 「メニュー項目：」で [印刷品質] メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- トナーセーブ：

トナーセーブを設定します。詳しくは、P.71 「トナーセーブ機能を使用する」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. [OK] をクリックします。

5. アプリケーションから印刷の指示をします。

効果

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

2. [項目別設定] タブをクリックします。

3. 「メニュー項目：」で [効果] メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- スタンプ印字を使用

スタンプ印字を設定します。詳しくは、P.71 「原稿に文字をスタンプする」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. [OK] をクリックします。

4. 印刷する

5. アプリケーションから印刷の指示をします。

4

はがき、封筒に印刷する

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. 以下の項目を設定します。

- 紙トレイ：
はがきまたは封筒をセットした紙トレイを選択します。
- 原稿サイズ：
はがきまたは封筒の用紙サイズを選択します。
- 原稿方向：
はがきまたは封筒の印刷方向を選択します。
- 用紙種類：
用紙の種類を選択します。
 - 郵便はがき、往復はがきに印刷するときは、[厚紙 2 (131 から 162g/m²)] を選択します。
 - 封筒に印刷するときは、[封筒] を選択します。

4

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. [OK] をクリックします。
4. アプリケーションから印刷の指示をします。

↓ 補足

- 印刷品質を保つため、先端・後端から 15mm、左右端から 10mm 以上が余白となるようにしてください。
- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。操作部の設定については、P.60 「操作部を使用してはがき、封筒を設定する」を参照してください。
- はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。はがきのセット方向については、P.54 「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセット方向については、P.56 「封筒をセットする」を参照してください。

プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷する

本機が印刷データを受信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかトレイごとに指定できます。

プリンタードライバーやコマンドで指定した設定と操作部での設定が一致しないときは、エラーになります。

[トレイ設定選択] で [ドライバー/コマンド優先] を選択すると、操作部での用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類、用紙方向を適用して印刷できます。

4

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [プリンター初期設定] ▶ [OK]
2. [システム設定] ▶ [OK]
3. [トレイ設定選択] ▶ [OK]
4. 設定する給紙トレイを選択 ▶ [OK]
5. [ドライバー/コマンド優先] ▶ [OK]

↓ 補足

- 設定項目については、P.97 「システム設定」を参照してください。

印刷を中止する

本機とパソコンから印刷を中止します。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作します。

1. 印刷を中止するデータが、本機から印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。

2. 印刷を中止します。

データの印刷状況によって、次のいずれかの手順で操作します。

印刷開始前のとき

1. Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。
3. [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

印刷中のとき

1. [印刷取消] キーを押す ▶ [ジョブ消去] または [全消去] を選択 ▶ [消去する]

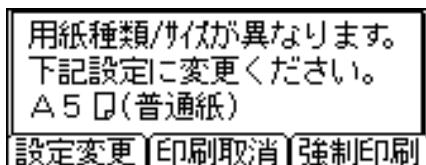
印刷中のジョブを消去するときは [ジョブ消去]、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは [全消去] を押します。

↓ 補足

- 大容量データの印刷を中止するときは、操作部から印刷中止の操作をしたあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に一致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、操作部に警告画面が表示されます。表示された内容にしたがって、印刷を継続するか中止するかを選択してください。



4

★重要

- ソートを指定して2部以上の印刷指示をしたときは、用紙サイズと用紙種類がプリンタードライバーの指定と一致するトレイがあるときだけ、操作部から強制印刷できます。

強制印刷する

トレイを選択して強制印刷する方法を説明します。

用紙を補給して印刷するときは、正しい用紙をセットしてからトレイを選択してください。

警告画面で【強制印刷】を押し、操作部の【▼】【▲】キーを使用して操作してください。

1. [実行] ▶ 使用するトレイを選択 ▶ [OK]

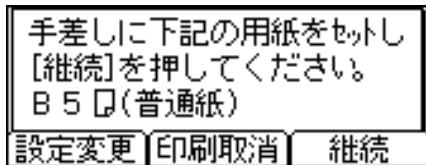
トレイの用紙設定を変更して印刷する

警告画面で【設定変更】を押し、操作部の【▼】【▲】キーを使用して操作してください。

- 用紙サイズを変更するトレイを選択 ▶ [OK]
- 使用する用紙サイズを選択 ▶ [OK]
- 用紙種類を変更するトレイを選択 ▶ [OK]
- 使用する用紙種類を選択 ▶ [OK] ▶ [キャンセル]

手差しトレイからの印刷を継続する

手差しトレイの設定によっては、ジョブで指定した用紙サイズと異なる用紙が給紙されると警告画面が表示されます。



この画面が表示されたときは、セットした用紙のサイズを確認してください。

1. 画面に表示されている用紙を手差しトレイにセット ▶ [継続]

エラーが発生したページから印刷が再開されます。

↓ 補足

- ・[設定変更] から用紙サイズや用紙種類を変更しても、実行中のジョブには適用されません。用紙設定を変更するときは、印刷取消をしてから、再度、印刷を実行してください。
- ・手差しトレイの動作は〔トレイ設定選択〕で設定できます。設定項目については、P.97「システム設定」を参照してください。

印刷を中止する

1. [印刷取消] ▶ [ジョブ消去] または [全消去] を選択 ▶ [消去する]

印刷中のジョブを消去するときは〔ジョブ消去〕、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは〔全消去〕を押します。

↓ 補足

- ・大容量データの印刷を中止するときは、操作部から印刷中止の操作をしたあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

4. 印刷する

4

5. 本機の設定と管理

本機の設定や管理を操作部または Web ブラウザーから行う方法などについて説明しています。

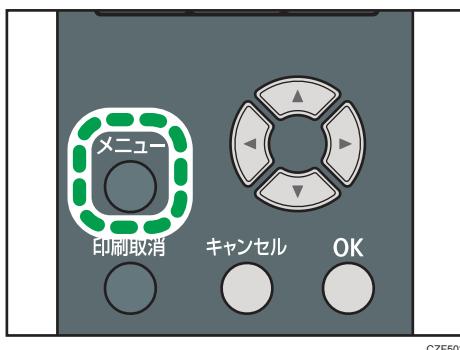
[メニュー] 画面で本機を設定する

[メニュー] 画面の開きかた

★ 重要

- 管理者認証が設定されているときは、管理者に確認してください。

1. [メニュー] キーを押します。

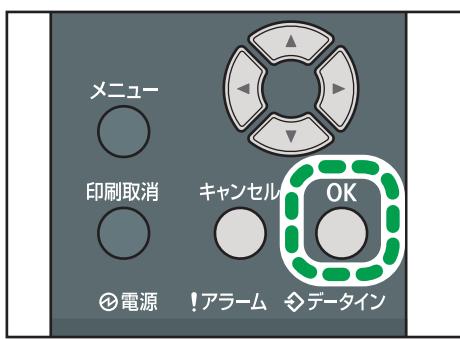


CZF502

2. [▼] [▲] キーを押して設定する項目を選択します。



3. [OK] キーを押して選択を確定します。



CZF503

4. [メニュー] キーを押します。

[キャンセル] キーを押すことでも終了できます。

操作後は、通常の画面に戻してください。

 **補足**

- 設定/変更した内容は、設定し直さないかぎり有効です。電源を切ったり、スリープモードに入ったりしても取り消されません。

[メニュー] キーの機能一覧

操作部では、本機を使用するために必要な各種の基本的な設定や調整ができます。ここでは設定できるメニューと項目一覧を説明します。

システム初期設定

5

設定項目
基本設定
用紙設定
時刻タイマー設定
インターフェース設定
管理者用設定
調整/管理

プリンター初期設定

設定項目
テスト印刷
システム設定
PCL 設定

表示言語切替

操作部の画面に表示する言語として、日本語と英語を選択できます。

調整/管理

[システム初期設定] の [調整/管理] からも設定できます。

用紙設定

[システム初期設定] の [用紙設定] からも設定できます。

システム初期設定

本機で設定できる「システム初期設定」の各種項目について説明します。

基本設定

ブザー音

操作部のキーを押したときや本機に異状が発生したときに、音を出すか出さないかを選択します。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：ON

画面コントラスト調整

画面のコントラストを7段階に調整できます。

キーリピート設定

キーリピートを使用するかしないかを設定します。キーリピートを有効にすると、スクロールキーの長押しで画面をスクロールしたり、数値を増減したり、文字選択時にカーソルを左右に移動したりできます。長押しの時間も設定できます。

- リピートしない
- 通常
- リピート時間：中
- リピート時間：長

工場出荷時の設定：通常

mm/inch 切替

操作部に表示される用紙サイズの単位を切り替えます。設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、電源を入れ直してください。

- mm
- inch

工場出荷時の設定：mm

用紙設定

本機で設定できる「用紙設定」の各種項目について説明します。

★ 重要

- 「用紙サイズ設定」と「用紙種類設定」は、本機に装着されているトレイだけ画面に表示されます。

給紙トレイ優先設定：プリンター

優先する給紙トレイを設定します。

プリンタードライバーで【自動トレイ選択】が有効になっているときに最初に対象となるトレイを指定できます。

- 手差しトレイ
- トレイ 1
- トレイ 2

工場出荷時の設定：トレイ 1

プリンター手差し用紙サイズ

手差しトレイにセットする用紙のサイズを設定します。

工場出荷時の設定：A4

用紙サイズ設定：トレイ 1～2

5

トレイ 1～2 にセットする用紙サイズを設定します。

工場出荷時の設定：A4

用紙種類設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットする用紙の種類を設定します。

工場出荷時の設定：普通紙

自動用紙

プリンタードライバーで【自動トレイ選択】を選択しているときに、手差しトレイを給紙トレイの対象に含むかどうかを指定します。

- 対象
- 対象外

工場出荷時の設定：対象

両面設定

手差しトレイを両面印刷の対象にするかしないかを指定します。

- 両面印刷の対象にする
- 両面印刷の対象にしない

工場出荷時の設定：両面印刷の対象にする

用紙種類設定：トレイ 1～2

トレイ 1～2 にセットする用紙の種類を設定します。

工場出荷時の設定：普通紙

自動用紙

プリンタードライバーで【自動トレイ選択】を選択しているときに、トレイ 1 またはトレイ 2 を給紙トレイの対象に含むかどうかを指定します。

- 対象

- 対象外

工場出荷時の設定：対象

両面設定

トレイ 1 またはトレイ 2 を両面印刷の対象にするかしないかを指定します。

- 両面印刷の対象にする
- 両面印刷の対象にしない

工場出荷時の設定：両面印刷の対象にする

▼ 補足

- 設定できる用紙サイズおよび用紙種類については、P.40「セットできる用紙のサイズ」または P.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

5

時刻タイマー設定

スリープモード設定

スリープモードへの移行時間を設定します。移行時間の間に本機を使用しないと、スリープモードに切り替わります。スリープモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。

工場出荷時の設定：1分

「1-240」（1 分単位）の範囲で時間を入力します。

オートリセット 時間設定

一定時間操作をしないとき自動的に初期画面へ戻るまでの時間を設定します。ただし、この設定の機能は次のようなときには計時されません。

- 通常のメニュー操作時
- 警告画面の表示時
- ユーザーの処置待ち状態やウォームアップ中などユーザー待機状態のとき

オートリセットを設定したときは、オートリセットするまでの時間を 10～999 秒（1 秒単位）の範囲で設定します。工場出荷時は 60 秒に設定されています。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する

年月日設定

システム時計の年月日を設定します。

「年」「月」「日」の切り替えは、[◀] [▶] キーを押してカーソルを移動します。

「年」「月」「日」は [▼] [▲] キーで設定します。

時刻設定

システム時計の時刻を設定します。

時刻は 24 時間制（1 秒単位）で入力します。

「時」「分」「秒」の切り替えは、[◀] [▶] キーを押してカーソルを移動します。

「時」「分」「秒」は [▼] [▲] キーで設定します。

インターフェース設定

本機で設定できる「インターフェース設定」の各種項目について説明します。

ネットワーク

本体 IPv4 アドレス

ネットワーク上における本機の IPv4 アドレスを指定します。

5

[指定] を選択したとき、[本体 IPv4 アドレス] と [サブネットマスク] を「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

[指定] を選択したとき、[本体 IPv4 アドレス] は、ネットワーク内の他の機器の IPv4 アドレスと重複しないように設定してください。

物理アドレス（MAC アドレス）も表示されます。

工場出荷時の設定：**指定**

IPv4 ゲートウェイアドレス

別のネットワークのパソコンや機器から印刷や情報の取得などをするときに、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。

別のネットワークのパソコンや機器から本機を使用するときに設定してください。アドレスは「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

工場出荷時の設定：0.0.0.0

本体 IPv6 アドレス

ネットワーク上における本機の IPv6 アドレスを表示します。

- ・リンクローカルアドレス

設定されている本機のリンクローカルアドレスを表示します。

- ・手動設定アドレス

設定されている本機の手動設定アドレスを表示します。本機の IPv6 アドレスを指定できます。

- ・手動設定プレフィックス長

本機の IPv6 プレフィックス長を指定できます。

工場出荷時の設定：64

- ・ステートフルアドレス

設定されている本機のステートフルアドレスを表示します。

- ステートレスアドレス：1-3

[IPv6 ステートレスアドレス自動設定] が [有効] に設定されているとき、設定されているステートレスアドレスを表示します。

DHCPv6

DHCPv6 を設定します。

- DHCPv6
- DHCPv6-lite
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

IPv6 ステートレスアドレス自動設定

IPv6 ステートレスアドレス自動設定の有効/無効を設定します。

工場出荷時の設定：**有効**

IPv6 ゲートウェイアドレス

本機の IPv6 ゲートウェイアドレスを表示します。

DNS 設定

DNS サーバーの運用について設定します。

[指定 (IPv4)] または [指定 (IPv6)] を選択したときは、[DNS サーバー 1] または [DNS サーバー 2] を選択して、DNS サーバーのアドレスを「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。(x は数値)

指定 (IPv4)

- DNS サーバー 1
- DNS サーバー 2

指定 (IPv6)

- DNS サーバー 1
- DNS サーバー 2

DNS 優先プロトコル

DNS 名前解決時に優先するプロトコルを指定します。

- IPv4
- IPv6

工場出荷時の設定：**IPv4**

IPsec

本機の IPsec 機能の有効/無効を設定します。IPsec の詳細については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

ドメイン名

ドメイン名を設定します。[指定] を選択するときは、ドメイン名を半角英数 63 文字以内で入力してください。

工場出荷時の設定：**自動的に取得 (DHCP)**

有効プロトコル

ネットワークで使用するプロトコルを選択します。

IPv4

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

IPv6

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

HTTP (IPv4)

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

HTTP (IPv6)

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

Web

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

イーサネット速度

イーサネットボードを使用してネットワーク通信するときの通信速度を選択できます。

ハブとの相性で通信ができないときは、使用するネットワーク環境に合わせて速度を選択してください。

- 自動設定
- 100Mbps 全二重固定
- 100Mbps 半二重固定
- 10Mbps 全二重固定
- 10Mbps 半二重固定

工場出荷時の設定：**自動設定**

ホスト名

ホスト名を設定します。ホスト名は半角英数 31 文字以内で入力してください。

- 先頭末尾にハイフンを入力してホスト名を設定することはできません。
- ハイフンを 2 つ続けて入力してホスト名を設定することはできません。
- ドット (.) ではじまるホスト名や、連続するドット (.) を含むホスト名を設定することはできません。
- RNP または rnp ではじまるホスト名を設定することはできません。

本体名

本体名を設定します。最大 31 文字（全角は 2 文字換算）で入力してください。

USB 速度

USB の速度設定を選択します。

- 自動選択
- フルスピード

工場出荷時の設定：自動選択

設定一覧リスト印刷

使用するネットワーク環境に関する項目を確認できます。インターフェース設定リストは現在のネットワーク設定や情報について記載しています。

補足

- Web Image Monitor からの設定方法は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

管理者用設定

本機で設定できる「管理者用設定」の各種項目について説明します。

通信テストコール実行

@Remote センターサーバー (RICOH Gateway) に通信テストをします。@Remote を使用しているときに実行できます。この機能は [機器情報通知実行] または [修理依頼通報実行] を使用しているときは実行できません。

機器情報通知実行

@Remote センターサーバー（RICOH Gateway）に機器情報を通知します。@Remote を使用しているときに実行できます。この機能は【通信テストコール実行】または【修理依頼通報実行】を使用しているときは実行できません。

修理依頼通報実行

@Remote センターサーバー（RICOH Gateway）に修理依頼通報を送信できます。
@Remote を使用しているときに実行できます。この機能は【通信テストコール実行】または【機器情報通知実行】を使用しているときは実行できません。

AOF（常時 ON）

スリープモードに移行するかしないかを選択できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する

ファームウェアバージョン表示

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

USB ポート固定

USB ポートで新規接続時に、プリンタードライバーを再度インストールするかしないかを設定します。

- する
- しない

同一の機種でも元のプリンター以外は新しい機器として接続されるため、プリンタードライバーを個別に PC にインストールする必要があります。

工場出荷時の設定：しない

設定の初期化

本機の初期設定項目を工場出荷時の値へ戻します。設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、電源を入れ直してください。

- すべての設定を初期化
- 初期設定で設定したすべての項目を工場出荷時の値へ戻します。
- ネットワーク設定を初期化
- ネットワーク設定で設定した項目を工場出荷時の値へ戻します。

タイムゾーン

定世界時（UTC）との時差を入力して機器のタイムゾーン（時差情報）を設定します。-1440～+1440 分の範囲で指定できます。

ユーザー制限

操作部による操作をパスワードで制限するかしないかを設定します。制限を有効にしたときでも、パソコンからの印刷やエラー解除のための操作にパスワードは必要ありません。

詳細については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

省エネモード印刷後スリープ移行

[印刷後待機状態] が [操作画面オフ(省エネ)] に設定されているときに、スリープモードにすぐに移行するかどうかを指定します。

- すぐに移行
[スリープモード設定] で設定した時間に関わらず、印刷後すぐにスリープモードが再開します。
- 設定時間経過後に移行
[スリープモード設定] で設定した時間が経過した後に、スリープモードに移行します。

工場出荷時の設定：すぐに移行

印刷後待機状態

スリープモード中に印刷が実行されたときの本機の動作を指定します。

- 操作画面オン
操作画面を表示して印刷処理をします。
- 操作画面オフ(省エネ)
操作画面を消灯したまま印刷処理をします。

工場出荷時の設定：操作画面オフ(省エネ)

再起動タイマー設定

本機を連続して使用するとき、定期的に再起動することで動作異常を防ぎ、快適に使用できます。設定時刻になると、ブザーが鳴り確認画面が表示されます。再起動を実行するときは「実行」、中止するときは「中止」を押します。どちらも押さないときは、3分後に自動的に再起動が実行されます。

確認画面で「中止」を押したとき、または再起動が行われない状況のときは、1時間後に再起動を実行します。(3回までリトライします)

再起動タイマー設定

再起動タイマー設定の有効/無効を設定します。

- 無効
- 有効

工場出荷時の設定：無効

再起動時刻

再起動タイマー設定を有効にしたとき、自動的に再起動する時刻（時/分）を、0～23 時（1 時間単位）、0～59 分（1 分単位）の範囲で設定します。

[◀] [▶] を押してカーソルを移動し、[▲] [▼] を押して「時」「分」を設定します。

工場出荷時の設定：2 時 00 分

▼ 補足

- スリープモード時は確認画面が表示されず、自動的に再起動が実行されます。
- 再起動が行われない条件は次のとおりです。
 - 操作部を操作しているとき
 - 初期設定画面を表示しているとき
 - 本機が動作中または設定値を書き換え中

5

調整/管理

本機で設定できる「調整/管理」の各種項目について説明します。

サプライ交換通知時期設定

サプライの交換時期を通知するタイミングを設定します。トナー、ドラムユニット交換の通知タイミングを個別に設定できます。

- 早めに通知
- 通常
- 遅めに通知

工場出荷時の設定：通常

サプライエンド時動作

ドラムユニットのサプライエンド時に印刷を継続するかしないかを選択します。

- 印刷継続
- 印刷停止

工場出荷時の設定：印刷継続

印刷位置調整

トレイごとの印刷位置を合わせるために印刷位置を調整できます。通常は設定する必要はありませんが、オプションの給紙トレイを取り付けたときに調整します。詳しくは、P.161 「印刷位置を調整する」を参照してください。

調整シート印刷

調整シートを印刷します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。

- トレイ 1
- トレイ 2
- 両面（トレイ 1 から給紙）

調整実行

トレイごとの印刷位置を調整します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。

- ヨコ：トレイ 1
- ヨコ：トレイ 2
- ヨコ：手差しトレイ
- ヨコ：両面時裏面
- タテ：トレイ 1
- タテ：トレイ 2
- タテ：手差しトレイ
- タテ：両面時裏面

カール低減

印刷後の用紙の反りを減らすために設定します。この機能を有効にすると、ファーストプリントおよび印刷速度が通常よりも遅くなります。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：無効

手動ドラム回転

印刷画像に縦スジが発生したときに実行すると改善される場合があります。

ドラムの回転をレベル 1（通常）、レベル 2（強）の 2 段階のレベルから選択し実行します。

何度も実行するとドラムユニットの寿命が短くなる可能性があるので、改善されないときはサービス実施店に連絡してください。

- レベル 1
- レベル 2

クリーニングシート出力

印刷した用紙に等間隔の黒い点が発生したときに、クリーニングシート出力を実行すると改善されることがあります。本機能を実行するためには、本機に同梱されているクリーニングシートが必要です。

クリーニングシート出力の操作方法は、P.157「本体内部を清掃する」を参照してください。

クリーニングシートを使い切ったときや紛失したときは、[クリーニングシート出力] の代わりに [Bk チャート] を実行してください。

Bk チャート

印刷画像に黒い点が発生したときに、Bk チャートを印刷すると改善されることがあります。本機に同梱されているクリーニングシートを使い切ったときや、クリーニングシートの紛失により [クリーニングシート出力] が実行できないときに使用してください。

手差しトレイに用紙（A4 サイズまたはレターサイズ）をセットして実行してください。

実行後、下記に示す画像が両面で印刷されます。黒い斑点が発生しなくなったか確認してください。



5

改善されないときはサービス実施店に連絡してください。

定着調整優先設定

A5口や A6口など、本機が通紙できる最大幅よりも狭い幅の用紙を連續印刷したあとに、A4口や 8 1/2×11 口など、より幅の広い用紙を印刷すると、利用環境や使用方法によっては、印刷物の裏面が汚れることがあります。

定着調整優先設定は、この汚れを防止するために定着ユニットの温度上昇を抑え、印刷品質を一定に保ちます。

この機能を [画質優先] に設定すると、印刷速度が通常よりも遅くなります。また、印刷後にプリンターの内部を冷却するため、次のジョブを印刷開始するまでに 40 秒程度かかることがあります。

- 画質優先
- 速度優先

工場出荷時の設定：速度優先

濃度調整

通常は工場出荷時の設定で使用してください。ただし、印刷面がかすれたり汚れたりしたときは、印刷濃度を調整します。-6 から 3 の範囲で設定できます。詳しくは、P.160 「印刷濃度を調整する」を参照してください。

再生紙設定

再生紙の厚さをトレイごとに設定します。

実際の厚さについては、P.42 「セットできる用紙の種類」を参照してください。

- 普通紙
- 普通紙 2

工場出荷時の設定：**普通紙**

色紙設定

色紙の厚さをトレイごとに設定します。

実際の厚さについては、P.42 「セットできる用紙の種類」を参照してください。

- 普通紙
- 普通紙 2

工場出荷時の設定：**普通紙**

レターへッド紙設定

レターへッド紙の厚さをトレイごとに設定します。

実際の厚さについては、P.42 「セットできる用紙の種類」を参照してください。

- 薄紙
- 普通紙
- 普通紙 2
- 中厚口
- 厚紙 1
- 厚紙 2

工場出荷時の設定：**普通紙**

ラベル紙設定

ラベル紙の厚さをトレイごとに設定します。

実際の厚さについては、P.42 「セットできる用紙の種類」を参照してください。

- 普通紙 2
- 中厚口
- 厚紙 1

工場出荷時の設定：**厚紙 1**

封筒設定

封筒の厚さをトレイ 1 と手差しトレイそれぞれに設定します。

実際の厚さについては、P.42 「セットできる用紙の種類」 を参照してください。

- 普通紙 2
- 厚紙 2

工場出荷時の設定：**普通紙 2**

印刷済み紙設定

印刷済み紙の厚さをトレイごとに設定します。

実際の厚さについては、P.42 「セットできる用紙の種類」 を参照してください。

- 普通紙
- 普通紙 2

工場出荷時の設定：**普通紙**

用紙サイズエラー検知

用紙サイズエラーを検知するかどうかを設定します。

- 検知する

印刷時に、[用紙設定] メニューやトレイの用紙サイズダイヤル、プリンタードライバーの用紙サイズ設定と、トレイから給紙された用紙のサイズが合っているかどうかを検知します。サイズエラーを検知したときは、エラーメッセージを表示し、印刷を停止します。

- 検知しない

用紙サイズエラーを検知しません。

工場出荷時の設定：**検知する**

待機時定着ヒーターオフ

スリープモードや定着部オフモードの省エネ機能が無効に設定されているなど、30 分間待機状態が続くと定着部のヒーターを自動でオフにします。

定着部のヒーターを自動でオフにするので、待機時よりも消費電力が少なくなります。

- 自動オフする
- 自動オフしない

工場出荷時の設定：**自動オフする**

プリンター初期設定

テスト印刷

本機で設定できる「テスト印刷」の各種項目について説明します。

システム設定リスト

本機のシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。

詳しくは、P.36 「システム設定リストの見かた」 を参照してください。

メニューリスト

設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。

PCL 情報リスト

PCL のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。

5

データ操作/管理

トレイ読み替え(PCL)

各トレイのトレイパラメーターを設定します。トレイパラメーターは 3 つまで設定できます。

基幹系システムで使用しているとき、以前に使用していたプリンターと本機のトレイパラメーターが異なると、意図しないトレイから給紙されます。基幹系システム側を変更することなく正しく給紙するためには、各トレイのトレイパラメーターを以前に使用していたプリンターと同じ設定にする必要があります。

補足

- トレイパラメーターを読み替える必要がないときは、空欄のままにしてください。
- 異なる給紙トレイに同じトレイパラメーターは設定できません。

システム設定

本機で設定できる「システム設定」の各種項目について説明します。

エラーレポート印刷

プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生したときにエラーレポートを印刷するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

エミュレーション検知

本機に送られたデータを自動的に判断してエミュレーションを決定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する

優先エミュレーション

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションを設定します。この設定は【エミュレーション検知】が【しない】に設定されているときだけ有効です。

本機に送られたデータは、すべてこの設定項目で指定したエミュレーションで印刷されます。

本機では【PCL】だけが設定できます。

優先メモリー

5

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度などによって選択してください。

- ユーザーメモリー
PDL のワークメモリーに多くのメモリー領域を割り当てる設定です。メモリー不足で印刷できないときに設定します。
- ページメモリー
画像メモリーに多くのメモリー領域を割り当てる設定です。印刷データの内容によっては印刷速度を上げられます。

工場出荷時の設定：ページメモリー

印刷枚数設定

印刷枚数を1～999枚の間で設定できます。プリンタードライバーで印刷部数を指定したときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。

工場出荷時の設定：1

180度回転

180度回転印刷をするかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

補助用紙サイズ

指定した用紙サイズが給紙トレイにないときに、用紙サイズの切り替えをするかどうかを設定します。

本機能はA4、Letter(8 1/2"×11")間の用紙サイズ切り替えだけに対応しています。

切り替えをしたとき、A4 と Letter (8 1/2"×11") では最大印字領域が異なるので、それぞれの領域を越えた描画は、端部が切れたり、正常に印刷されなかったりします。

- 自動
- しない

工場出荷時の設定：しない

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙のように印刷方向や印刷面が決まっている用紙を正しく印刷するために設定します。

この機能を有効にして両面印刷をすると、最終ページが奇数ページのときも、両面で印刷されます。

この機能を使用するときは、用紙のセット方向に注意が必要です。詳しくは P.53「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

- 使用しない

レターヘッド紙印刷を使用しません。

- 使用する（自動判定）

印刷方向や印刷面が決まっている用紙が 1 ページ目に指定されたときに、レターヘッド紙印刷をします。

工場出荷時の設定：使用しない

トレイ設定選択

用紙設定（用紙サイズ、用紙種類）を操作部で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

本機に装着されているトレイが画面に表示されます。

手差しトレイ

手差しトレイの用紙設定を操作部で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

- ドライバー/コマンド優先

給紙トレイを指定して印刷するときは、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。

- 機器側設定優先

本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

- 機器側設定優先（全紙種許可）

用紙種類の指定が不要なときに指定すると、用紙サイズだけ一致していれば、用紙種類にかかわらず印刷できます。

この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

- [用紙設定] の [用紙種類設定：手差しトレイ] で [自動用紙] を [対象にする] に設定

- プリンタードライバーの給紙トレイを [自動トレイ選択] に設定

- 全用紙サイズ・用紙種類許可

プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を手差しトレイに適用し、印刷を継続できます。

この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

- [用紙設定] の [用紙種類設定：手差しトレイ] で [自動用紙] を [対象にする] に設定

- プリンタードライバーの給紙トレイを [自動トレイ選択] に設定

- 全不定形サイズ・用紙種類許可

プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が不定形サイズの場合だけ、その設定を手差しトレイに適用して印刷を継続できます。

この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

- [用紙設定] の [用紙種類設定：手差しトレイ] で [自動用紙] を [対象にする] に設定

- プリンタードライバーの給紙トレイを [自動トレイ選択] に設定

工場出荷時の設定：ドライバー/コマンド優先

トレイ 1~2

トレイ 1~2 の用紙設定を操作部で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

- ドライバー/コマンド優先

- 機器側設定優先

工場出荷時の設定：機器側設定優先

PCL 設定

両面印刷

両面印刷をするかしないかを設定できます。両面印刷をするときはその方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：しない

印刷方向

印刷方向を指定します。

- タテ
- ヨコ

工場出荷時の設定：タテ

行数

5～128 行まで 1 行ごとに設定できます。

工場出荷時の設定：60

フォントソース

フォントの格納先を表示します。

工場出荷時の設定：内蔵メモリー

フォント番号

フォント読込先のフォント番号を指定します。0～63 の間で設定できます。

工場出荷時の設定：0

ポイントサイズ

フォントサイズを設定します。4.00～999.75 (0.25 ごと) の間で設定できます。この設定項目は、可変幅フォントだけに適用されます。

工場出荷時の設定：12.00

フォントピッチ

文字間を設定します。0.44～99.99 (0.01 ごと) の間で設定できます。この設定項目は、固定幅フォントだけに適用されます。

工場出荷時の設定：10.00

シンボルセット

フォントの文字セットを指定できます。

- Roman-8、Roman-9、ISO L1、ISO L2、ISO L5、ISO L6、ISO L9、PC-775、PC-8、PC-8 D/N、PC-850、PC-852、PC-858、PC8-TK、PC-1004、Win L1、Win L2、Win

L5、Win Baltic、Desktop、PS Text、MS Publ、Math-8、PS Math、Pifont、Legal、ISO 4、ISO 6、ISO 11、ISO 15、ISO 17、ISO 21、ISO 60、ISO 69、Win 3.0、MC Text、UCS-2、PC-864、Arabic-8、Win Arabic、PC-866、PC-866U、ISO Cyrillic、Win Cyrillic、PC-851、Greek-8、ISO Greek、PC-8 Greek、Win Greek、PC-862、Hebrew-7、Hebrew-8、ISO Hebrew

工場出荷時の設定：PC-8

クーリエフォント

クーリエフォントの種類を指定できます。

- レギュラー
- ダーク

工場出荷時の設定：レギュラー

A4 サイズ最大幅印刷

5

A4 サイズ用紙の印刷可能領域を、両側のマージンを減らして最大幅にするかどうかを指定します。

- しない
- する

工場出荷時の設定：しない

LF 設定

改行コードを LF コードだけにするか、LF コード + CR コードにするかどうかを指定します。

- LF=LF
- LF=CR+LF

工場出荷時の設定：LF=LF

解像度

印刷の解像度を指定します。

- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

白紙排紙

印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する

表示言語切替

操作部の画面に表示する言語として、日本語と英語を選択できます。

工場出荷時は、日本語に設定されています。

調整/管理

[システム初期設定] の [調整/管理] でも設定できます。詳しくは、P.92 「調整/管理」 を参照してください。

用紙設定

[システム初期設定] の [用紙設定] でも設定できます。詳しくは、P.83 「用紙設定」 を参照してください。

Windows ネットワークプリンターを設定する

Windows でネットワークプリンターを設定する方法の説明です。クライアントからネットワークプリンターを使用するために共有設定をします。

★ 重要

- ・[プリンタ]、[プリンタと FAX]、または [デバイスとプリンター] ウィンドウでプリンタープロパティを変更するには、Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. [スタート] ボタンをクリックします。

[スタート] メニューが表示されます。

5

Windows 8/8.1 では、[デスクトップ] をクリックし、画面の右下にカーソルを当てます。[設定]、[コントロールパネル] の順にクリックします。

2. [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows XP では、[プリンタと FAX] をクリックして [プリンタと FAX] ウィンドウを開きます。

Windows Vista では、[コントロールパネル]、[ハードウェアとサウンド]、[プリンタ] の順にクリックし、[プリンタ] ウィンドウを開きます。

Windows 8/8.1 では、[ハードウェアとサウンド] の下の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

3. 追加したプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。プリンターのプロパティ画面が開きます。

Windows XP では、追加したプリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

Windows Vista では、追加したプリンターのアイコンを右クリックし、[管理者として実行] をクリックしてから、[プロパティ] をクリックします。

4. [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] にチェックを付けます。

5. 本機をほかのバージョンの Windows を使用しているユーザーと共有するときは、[追加ドライバー] をクリックします。

プリンタードライバーをインストールしたときに、「共有」にチェックを付けて代替ドライバーをインストールした場合は、この操作は必要ありません。

6. [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Web ブラウザーを使用する

Web ブラウザーを使用して本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更したりできます。この機能を Web Image Monitor といいます。

どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある本機の状態確認や設定変更をネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 本機の状態/設定の表示
- 本機の各種設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティーの設定

本機の環境設定

5

この機能は TCP/IP プロトコルを使用して動作します。Web Image Monitor を使用するときは、本機で TCP/IP プロトコルを設定してください。TCP/IP が正しく設定されると、この機能は自動的に有効になります。

推奨ブラウザー

Internet Explorer 6.0/7.0/8.0

Firefox 2.0 以降

Safari 3.0 以降

また、Web Image Monitor はスクリーンリーダーに対応しています。推奨するアプリケーションは 95Reader Ver.6.0 (XPReader) 以降です。

補足

- 使用するブラウザーのバージョンが推奨ブラウザーより低いときや、使用するブラウザーの設定で「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていないときは、表示や操作に不具合が生じことがあります。
- プロキシサーバーを使用するときは、ブラウザーの設定を変更してください。詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。
- Firefox を使用するときは、テーブルのくずれ、フォントや色の相違などが発生することがあります。
- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 でホスト名を使用するときは、外部の DNS サーバーでホスト名の解決をしてください。hosts ファイルは使用できません。
- Internet Explorer 8 以降を使用しているとき、ダウンロードに時間がかかることがあります。本機の URL を [インターネットオプション] から信頼済みサイトとして登録し、サイトの SmartScreen フィルター機能を無効にしてください。詳しくは、Internet Explorer のヘルプを参照してください。

- Web ブラウザーに表示される URL をブックマーク登録すると、Web Image Monitor 画面をすぐに呼び出せます。ログイン前のトップページ画面を登録してください。ログイン後のトップページ画面を登録すると、正しく表示されません。
- Web Image Monitor から設定するときは、操作部からログインしないでください。設定値が無効になることがあります。

Web Image Monitor のトップページを表示する

Web Image Monitor には、ゲストモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。

ゲストモード

ログインしないで使用するモードです。

ゲストモードでは、本機の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、本機に関する設定は変更できません。

5

管理者モード

管理者としてログインして使用するモードです。

管理者モードでは、本機に関する各種の設定ができます。

★ 重要

- IPv4 アドレスを入力するときは、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」のときは「192.168.1.10」と入力します。「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されているときは、ホスト名を入力できます。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしているときは、「https://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力します。

3. 管理者モードでアクセスするときは、Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4. ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者に確認してください。



CZF914

1. メニューエリア

メニュー項目を選択すると、選択した内容が表示されます。

2. ヘッダーエリア

ゲストモードと管理者モードを切り替えるために [ログイン] または [ログアウト] が表示されます。

また、ヘルプ用のボタンやバージョンが表示されます。

3. ヘルプ

ヘッダーエリアのヘルプボタン (?) をクリックすると、ヘルプ情報を閲覧できます。

ワークエリアのヘルプボタン (?) をクリックすると、ワークエリアの設定項目に関するヘルプ情報を表示できます。

ヘルプ情報を閲覧するには、インターネットへの接続が必要です。

4. 更新

最新の情報に更新 (⟳) : ワークエリア内の情報が更新されます。Web ブラウザー画面全体を更新するときは、ブラウザーの [更新] をクリックしてください。

5. 基本情報エリア

本機の基本情報が表示されます。

6. ワークエリア

トップページでは、本機の現在の状態を表示します。また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

5

Web Image Monitor の設定項目一覧

本機で使用できる Web Image Monitor の設定項目です。

ゲストモードでは、本機の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、本機に関する設定を変更することはできません。

管理者モードでは、本機に関する各種の設定ができます。

状態

メニュー	ゲストモード	管理者モード
状態	参照可	参照可
トナーカートリッジ（ブラック）	参照可	参照可
トナーカートリッジ（容量）	参照可	参照可
ドラムユニット	参照可	参照可
メンテナンスキット	参照可	参照可
給紙トレイ	参照可	参照可
排紙トレイ	参照可	参照可

構成

5

メニュー	ゲストモード	管理者モード
システム	参照可	参照可
バージョン	参照可	参照可
エミュレーション	参照可	参照可

設定

- 機器

メニュー	ゲストモード	管理者モード
システム	参照可	参照・変更とも可
日付・時刻	参照可	参照・変更とも可

- 管理者用設定

メニュー	ゲストモード	管理者モード
管理者認証	参照・変更とも不可	変更可
設定値初期化	参照・変更とも不可	変更可

- インターフェース

メニュー	ゲストモード	管理者モード
インターフェース設定	参照可	参照・変更とも可

- ネットワーク

メニュー	ゲストモード	管理者モード
IPv4	参照可	参照・変更とも可
IPv6	参照可	参照・変更とも可
DHCPv6	参照可	参照・変更とも可
DDNS	参照可	参照・変更とも可
SNMP	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

- セキュリティ

メニュー	ゲストモード	管理者モード
ネットワークセキュリティ	参照可	参照・変更とも可
アクセスコントロール	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
SSL/TLS	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
サイト証明書	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
機器証明書	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
IPsec	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

- @Remote (RC Gate)

メニュー	ゲストモード	管理者モード
Remote Communication Gate セットアップ	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
RC Gate プロキシサーバー	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

メンテナンス

メニュー	ゲストモード	管理者モード
サプライ交換通知時期設定	参照可	参照・変更とも可
サプライエンド時動作	参照可	参照・変更とも可
印刷位置調整	参照可	参照・変更とも可

カウンター

メニュー	ゲストモード	管理者モード
トータル	参照可	参照可
プリンター：白黒	参照可	参照可
両面	参照可	参照可

機器のリセット

ゲストモード	管理者モード
参照・変更とも不可	変更可

6. こまつたときには

困ったときの対処方法を説明します。

よくあるご質問を参照するとき

リコーではお客様からいただくよくあるご質問（FAQ）をホームページで公開しております。

お客様からよく寄せられるご質問をご覧いただけます。

ホームページの URL は次のようにになります。

<http://www.ricoh.co.jp/support/qa/>

検索方法は次の 2 種類があります。

自然文検索

空欄に質問文を入力し、検索ボタンを押してください。FAQ データベースから、該当する回答の候補を検索できます。

製品別検索

お客様からよく寄せられるご質問を、機種名を選択して検索できます。

ブザー音が鳴ったとき

本機の状態をブザー音で知らせます。

ブザー音のパターン	意味	状態
“ピッ”	入力完了音	操作部や画面のキーを押したことを知らせます。
“ピッピー”	入力無効音	無効なキーが押されたときやパスワード入力などを間違えたときにこの音が鳴ります。
“ピーピー”	準備完了音	スリープモードを解除したときや電源を入れたときに、印刷できる状態になったことを知らせます。
“ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー”	弱注意音 (同じパターンを 4 回繰り返します)	用紙切れのときなどにこの音が鳴ります。
“ピッピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピッピ”	強注意音 (同じパターンを 5 回繰り返します)	紙づまり、トナー補給や何らかの異常により、お客様による対処が必要となったときにこの音が鳴ります。

↓ 補足

- 鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
- ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定については、P.83 「基本設定」を参照してください。

操作部のランプ、マーク、メッセージを確認するとき

マークが表示されたとき

紙づまりや用紙補給など、お客様による操作が必要となったときに操作部に表示されるマークについて説明します。

マーク	状態
＊：用紙づまり表示	用紙がつまつたときに表示されます。 紙づまりを取り除く方法は、P.127「用紙がつまつたとき」を参照してください。
▲：用紙補給表示	用紙がなくなったときに表示されます。 用紙の補給方法は、P.39「用紙をセットする」を参照してください。
△：トナー補給表示	トナーがなくなったときに表示されます。 トナーの補給方法は、P.164「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
●：サービスコール表示	機械が故障したり、修理が必要なときに表示されます。 P.175「お問い合わせ」を参照してください。
□：カバーオープン表示	本機の前カバーや上カバーが開いているときに表示されます。

USB 接続がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に問題があります。	パソコン側の USB ケーブルを抜き、本機を再起動します。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の「！」または、黄色の「？」が表示されます。必要なデバイスを削除しないように注意してください。
USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。	本機が省エネ状態のときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。	USB ケーブルを抜いたあと、本機を起動させます。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを再度接続してください。

メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

サービスコールのメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえ、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。

状態表示メッセージ

メッセージ	状態
@Remote 証明書更新中	@Remote 証明書の更新中です。しばらくお待ちください。
印刷中です	印刷しています。
印刷できます	パソコンからデータを送って印刷できます。
印刷データ待ち	印刷データの受信待ちです。データの受信が完了すると印刷が始まります。
印刷取消中です	印刷ジョブを取り消し中です。「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
おまちください	1秒程度の短い間、このメッセージが表示されることがあります。トナーの補給中です。しばらくお待ちください。
設定変更中です	設定変更中です。
トナー補給中	トナーの補給中です。

エラーメッセージ

補足

- 電源の切りかたは、P.28「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
＊ (A1) トレイに詰まっている用紙を取り除き、前カバー開閉	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	給紙トレイを引き出して、用紙を取り除いてください。詳しくは、P.128「紙づまり (A1) が発生したとき」を参照してください。
＊ (A2) 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。	手差しトレイの用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	手差しトレイの用紙を取り除いてください。詳しくは、P.129「紙づまり

メッセージ	原因	対処方法と参照先
		(A2) が発生したとき」を参照してください。
8t (B) 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	前カバーを開けて、用紙を取り除いてください。詳しくは、P.131「紙づまり (B) が発生したとき」を参照してください。
8t (B) (C) 前/後カバーを開け詰まっている用紙を取り除く。	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	前カバーと後ろカバーを開けて、用紙を取り除いてください。詳しくは、P.133「紙づまり (B) (C) が発生したとき」を参照してください。
8t (Y1) トレイ 2 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉	トレイ 2 で紙づまりが発生しました。	トレイ 2 を引き出して、用紙を取り除いてください。詳しくは、P.139「紙づまり (Y1) が発生したとき」を参照してください。
8t (Z1) 後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。	搬送ユニット内で紙づまりが発生しました。	後ろカバーを開けて、用紙を取り除いてください。詳しくは、P.140「紙づまり (Z1) が発生したとき」を参照してください。
8t (Z2) トレイ 1 か後カバーを開けて用紙を取り除き前カバー開閉	搬送ユニット内で紙づまりが発生しました。	給紙トレイを引き出して、用紙を取り除いてください。詳しくは、P.142「紙づまり (Z2) が発生したとき」を参照してください。
P2：メモリエラー	メモリーの取得エラーです。	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【印刷品質】を選択して、以下の設定をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 【解像度】の設定を低く変更してください。 「ベクター／ラスター：」の設定を【ラスター】に変更してください。 プリンター初期設定の【優先メモリー】を【ページメモリー】から【ユーザーメモリー】に変更してください。
▲トナー残りわずか	トナーが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
▲トナー補給トナーカートリッジを交換してください。メニューキーでサプライ情報を確認できます。	トナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。P.164「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
廃トナー満杯	廃トナーが満杯になりました。	トナーカートリッジを交換してください。P.164「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
廃トナーもうすぐ満杯	廃トナーがもうすぐ満杯です。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
エラー。設定変更して印刷/取消	印刷中にエラーが発生しました。エラースキップにより、強制印刷または印刷が中止されました。	印刷設定を確認してください。
カバーオープン 白黒反転または矢印の部分 を閉めてください。	前カバーまたは後ろカバーが開いています。	前カバーまたは後ろカバーを閉めてください。
給紙トレイを正しくセットしてください。	指定したトレイが、正しくセットされていません。	指定したトレイが正しくセットされているか確認してください。
消耗品の自動発注に失敗	消耗品の自動発注に失敗しました。	サービス実施店に連絡してください。
センターに接続できませんでした。 /プロキシユーザー名/パスワードを確認	プロキシユーザー名もしくはパスワードが間違っています。	プロキシユーザー名もしくはパスワードを正しく設定してください。
トナーを正しくセットしてください。	トナーカートリッジがセットされていないか、正しくセットされていません。	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
ドラムユニットの交換時期です。 印刷を停止しました。ドラムユニットを交換後、印刷を再開します。	ドラムユニットの交換時期です。	ドラムユニットを交換してください。P.166「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
ドラムユニットの交換時期です。 ドラムユニットを交換して下さい。	ドラムユニットの交換時期です。印刷を継続できますが、印刷結果は保証できません。	ドラムユニットを交換してください。P.166「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
ドラムユニットもうすぐ交換	ドラムユニットが残りわずかです。	新しいドラムユニットを用意してください。
ドラムユニットを正しくセットしてください。	ドラムユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	ドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。 ドラムユニットが正しくセットされてもエラーメッセージが表示されるときは、乾いた布でドラムユニットの本体接触部分をやさしく拭き取ってください。

6. こまつたときには

メッセージ	原因	対処方法と参照先
(トレイ名)は片面印刷のみの設定となっているため両面印刷できません	トレイの設定が片面印刷に設定されています。	[設定変更]を押してトレイの設定を「両面印刷する」に変更するか、[印刷取消]を押して印刷をキャンセルしてください。または、[強制印刷]を押して片面で印刷してください。
(トレイ名)を下記設定に変更してください。	トレイに設定した用紙サイズが、プリンタードライバーで指定した用紙サイズと異なります。	[設定変更]を押してトレイの設定を指定された用紙サイズと用紙種類に合わせ、トレイに該当の用紙をセットしてください。または、[印刷取消]を押して印刷をキャンセルするか、[強制印刷]を押して別のトレイを指定して印刷してください。
(トレイ名)に用紙がありません。トレイに用紙を補給してください。	プリンタードライバーの設定が間違っている、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙がトレイにありません。	プリンタードライバーの設定を変更して再度印刷するか、トレイに用紙を補給してください。
パスワードを入力してください。	ユーザー制限が有効になっています。	パスワードについては管理者に確認してください。
非純正トナーがセットされています。	セットされているトナーカートリッジが純正ではないトナーカートリッジの可能性があります。	純正ではないトナーカートリッジを装着しているときは、純正のトナーカートリッジをセットしてください。
メンテナンスキットの交換時期です。	定期交換部品キット（定着ユニット、転写ローラー、給紙コロ、フリクションパッド）の交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
メンテナンスキットを正しくセットしてください。	定着ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	定着ユニットが正しくセットされているか確認してください。 定着ユニットが正しくセットされていてもエラーメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。

印刷が始まらないとき

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	電源が入っていません。	電源の入れかたについては、P.28「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
印刷が始まらない。	操作部の画面に原因が表示されます。	表示されているメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。対処方法は、P.115「メッセージが表示されたとき」を参照してください。
印刷が始まらない。	インターフェースケーブルが正しく接続されていません。	インターフェースケーブルの正しい接続については、P.31「パソコンに接続する」を参照してください。
印刷が始まらない。	適切なインターフェースケーブルを使用していません。	使用するインターフェースケーブルはパソコンの種類によって異なります。適切なインターフェースケーブルについては、P.31「パソコンに接続する」を参照してください。また、断線が考えられるときは、ほかのケーブルと交換してみてください。
印刷が始まらない。	本機の電源を入れてからインターフェースケーブルを接続しました。	インターフェースケーブルを接続してから、本機の電源を入れてください。
印刷が始まらない。 印刷が途中で終了してしまう。	本機が印刷データを正しく処理できていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【印刷品質】を選択し、【解像度】の設定を低く変更してください。 ・【プリンター初期設定】の【システム設定】にある【優先メモリー】を【ユーザーメモリー】に設定してください。 ・本機の電源を入れ直してください。
テスト印刷ができない。	本機が故障している可能性があります。	サービス実施店に確認してください。

それでも印刷が始まらないときは、サービス実施店に確認してください。

思いどおりに印刷できないとき

きれいに印刷できないとき

状態	原因	対処方法と参考先
全体がかずれる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.44「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
全体がかずれる。	適切な用紙がセットされていません。	当社推奨の用紙を使用してください。目の粗い用紙や表面が加工されている用紙に印刷するとかすれて印刷されることがあります。適切な用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
全体がかずれる。	プリンタードライバーでトナーセーブをするように設定されています。	プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【印刷品質】を選択して、「トナーセーブ：」の設定を「しない」に変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
一部、または全体がかずれる。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.155 「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。
指でこすると画像がかずれる。(トナーが定着していない)	厚紙などを使用しているときに、用紙種類の設定が合っていないことがあります。	プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【用紙】から、【用紙種類：】を変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。本機の用紙種類の変更方法は、P.60「用紙種類を設定する」を参照してください。
画面どおりに印刷されない。	本機側のグラフィック処理を使用して印刷されます。	【項目別設定】タブの「メニュー項目：」から【印刷品質】を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を【ラスター】に変更してください。
文字がにじんで印刷される。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.155 「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される。	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷していることがあります。	プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【基本】を選択します。用紙サイズの設定を確認して、アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙に設定してください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使用して縮小印刷してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
ページレイアウトがずれる。	プリンターによって印刷領域が異なることがあるため、ほかのプリンターで印刷すると1ページに入っていた文書が本機で印刷すると1ページに入らないことがあります。	プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【編集】を選択し、【印刷領域：】の設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
写真が粗く印刷される。	アプリケーションによっては、解像度を下げて印刷するものがあります。	プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【印刷品質】を選択し、「画像設定：」を【写真（イメージデータ）】に設定、または解像度を高く設定してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
縦の線が印刷される。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.155 「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。
白や黒のスジが入る。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.155 「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
思ったトレイとは異なるトレイから給紙される。	Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。	プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【用紙】を選択し、「給紙トレイ：」の設定を変更してください。

状態	原因	対処方法と参照先
		プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドガイドが正しくセットされていません。	サイドガイドが正しくセットされているか確認してください。給紙トレイのセット方法は、P.46「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されています。	用紙のセット方法は、P.46「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
水滴状に白抜けする、または汚れる。	用紙から発生した水蒸気が用紙に付着して画像が水滴状に白く抜けたり、トナーで汚れることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 本機を低温にならない場所に設置してください。 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.44「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多すぎます。	給紙トレイのサイドガイド、または手差しトレイの用紙ガイド板の内側に表示されている上限表示の線を超えないように用紙をセットしてください。また、複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイドガイド、エンドガイドが正しくセットされていません。	サイドガイド、エンドガイドが正しくセットされているか確認してください。また、サイドガイドがロックされているかどうかも確認してください。サイドガイド、エンドガイドのセット方法は、P.46「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイズ設定と用紙のサイズが異なっています。	<ul style="list-style-type: none"> 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.127「用紙がつまつたとき」を参照してください。 セットする用紙のサイズと、用紙サイズダイヤル、および操作部の設定を合わせてください。用紙のセット方法は、P.46「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.44「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、P.40「セットできる用紙のサイズ」、P.42「セットできる用紙の種類」、またはP.44「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	一度印刷した用紙を使用しています。	当社推奨の用紙を使用してください。また、本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。適切な用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に「バリ」（裁断したときにできた返し）があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・規定などを使ってバリを取り除いてください。 ・用紙の表裏を逆にしてセットしてください。
何度も用紙がつまる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。または1枚ずつ送ってください。
紙が重なって送られる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。または1枚ずつ送ってください。
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.44「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
用紙の先端が折れる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.44「用紙をセットするときの注意事項」を参照してください。または、[カール低減] を [有効] に設定してください。 設定項目については、P.92「調整/管理」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	推奨以外の用紙を使用しています。	適切な用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	用紙に「バリ」（裁断したときにできた返し）があります。	<ul style="list-style-type: none"> 定規などを使ってバリを取り除いてください。 用紙の表裏を逆にしてセットしてください。
両面印刷ができない。	両面印刷に対応していない用紙をセットしています。	両面印刷に対応する用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。
両面印刷ができない。	使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。	使用するトレイの両面印刷の対象の設定を変更してください。 設定項目については、P.83「用紙設定」を参照してください。
両面印刷ができない。	両面印刷に対応していない用紙種類に設定されているときは、両面印刷できません。	「システム初期設定」で使用するトレイの「用紙種類設定」の設定を両面印刷に対応する用紙に変更してください。 設定項目については、P.83「用紙設定」を参照してください。

その他のトラブルシューティング

状態	原因	対処方法と参照先
印刷の指示をしてから1枚目の印刷が始まるまで時間がかかる。	「スリープモード」になっていることがあります。	スリープモードの状態で印刷データを受信すると、ウォームアップのため印刷開始するまで時間がかかります。スリープモードに移行するまでの時間は [スリープモード設定] で変更できます。 設定項目については、P.97「システム設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
印刷に時間がかかる。	写真やグラフを多用したデータなど、データの種類によってはパソコンの処理に時間がかかることがあります。	<p>データインランプ♪が点滅しているれば、本機にデータは届いています。そのまま少しお待ちください。</p> <p>プリンタードライバーで次の設定をするとパソコンの負担が軽減することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 速度を優先させるように印刷品質の設定を変更する。 解像度を一番低い値に設定する。 <p>プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。</p>
用紙の裏面に印刷された。	セットされている用紙の表と裏が逆になっています。	給紙トレイ、増設トレイに用紙をセットするときは、印刷する面を上にセットしてください。手差しトレイに用紙をセットするときは、印刷する面を下にセットしてください。
縦と横が逆に印刷される。	セットした用紙方向とプリンタードライバーのオプションセットアップで設定した用紙方向が合っていません。	給紙トレイにセットした用紙の向きと、プリンタードライバーのプロパティから【オプション構成】タブの「給紙トレイ設定」で設定した用紙方向をそろえてください。
接続されているオプションが認識されない。	双向通信が働いていません。	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーのプロパティでオプション構成を設定してください。プリンタードライバーの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 プロパティで機器情報を自動更新すると、その他のプリンタードライバーで双向通信に失敗し、機器情報の自動更新ができなくなることがあります。この現象はWindows XP(32-bit)に限って発生することがあります。Windowsにログオンし直してから、もう一度自動更新を実施してください。
集約印刷や製本印刷、用紙指定変倍が指定どおりにできない。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定が間違っています。	プリンタードライバーの【項目別設定】タブで、「メニュー項目：」の【基本】を選択し、「原稿方向：」と「原稿サイズ：」が、アプリケーションと同じ設定か確認してください。

6. こまつたときには

状態	原因	対処方法と参照先
		異なるサイズが設定されているときは、原稿サイズと方向を選択してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に確認してください。

用紙がつまつたとき

紙づまりが発生したときは、操作部の画面に次のメッセージが表示されます。紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

「 (A1) トレイに詰まっている用紙を取り除き、前カバー開閉」

「 (A2) 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。」

「 (B) 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。」

「 (B)(C) 前/後カバーを開け詰まっている用紙を取り除く。」

「 (Y1) トレイ 2 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉」

「 (Z1) 後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。」

「 (Z2) トレイ 1 か後カバーを開けて用紙を取り除き前カバー開閉」

⚠ 注意



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

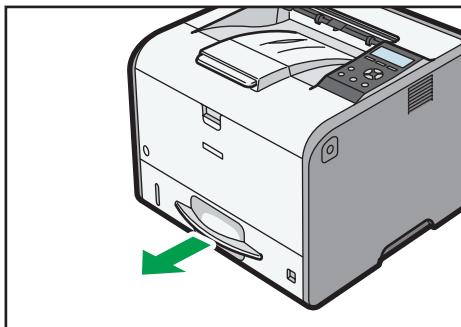
★ 重要

- 用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。
- 用紙は破れないように確実に取り除いてください。本機の内部に紙片が残ると、再び用紙がつまつたり、故障の原因になります。
- 何度も用紙がつまるときは、次の原因が考えられます。
 - 給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドの位置がずれている。詳しくは、P.39 「用紙をセットする」を参照してください。
 - フリクションパッドが汚れている。詳しくは、P.149 「給紙トレイ、フリクションパッド、給紙コロを清掃する」を参照してください。
 - 上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときはサービス実施店に連絡してください。

6. こまったときには

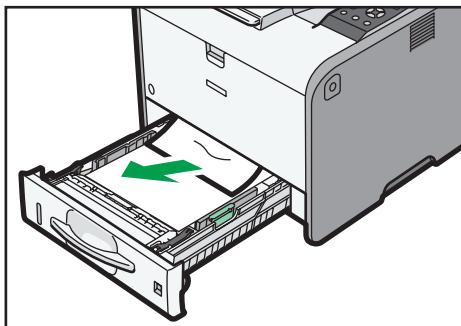
紙づまり (A1) が発生したとき

1. 紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出します。



CZF054

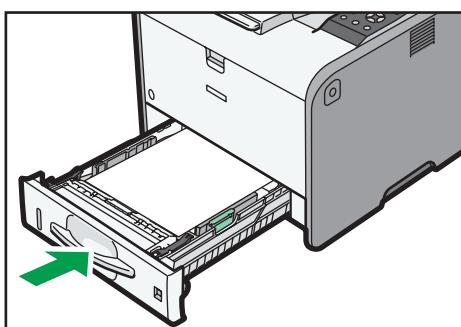
2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



CZF055

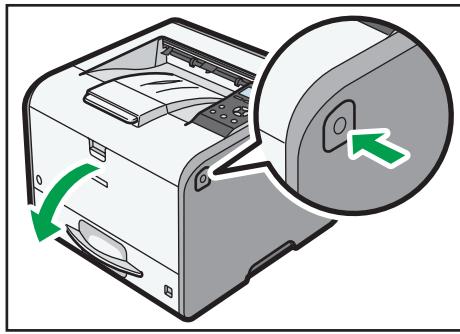
6

3. 紙トレイを止まる位置までゆっくりと差し込みます。

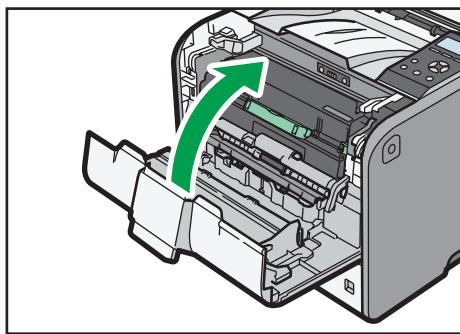


CZF056

4. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。



CZF005



CZF053

6

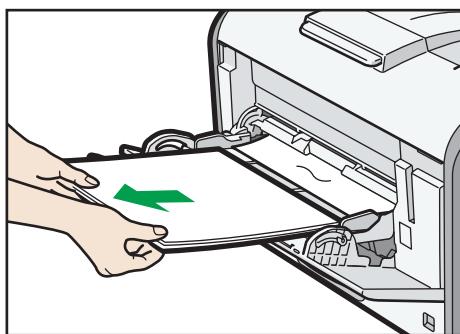
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

紙づまり（A2）が発生したとき

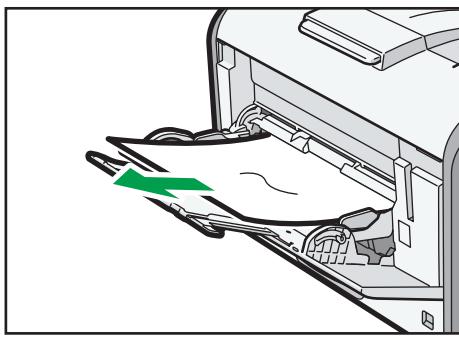
1. 手差しトレイにセットされている用紙を取り出します。



CZF057

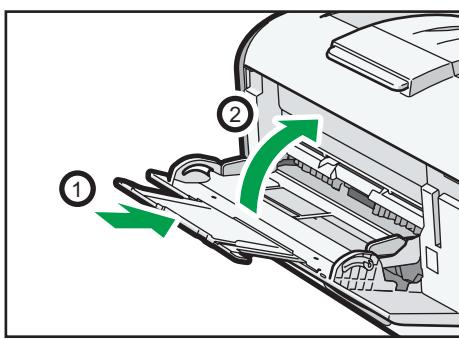
6. こまつたときには

2. つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。



CZF058

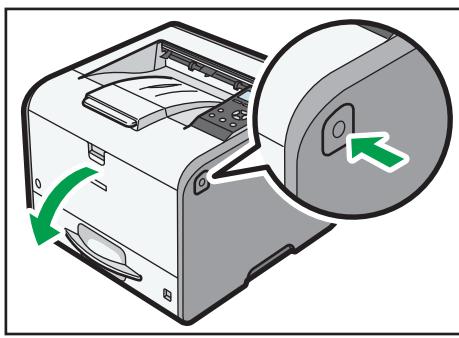
3. 手差しトレイを閉めます。



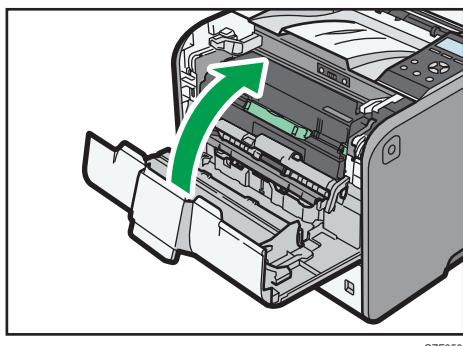
CZF006

6

4. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。



CZF005



CZF053

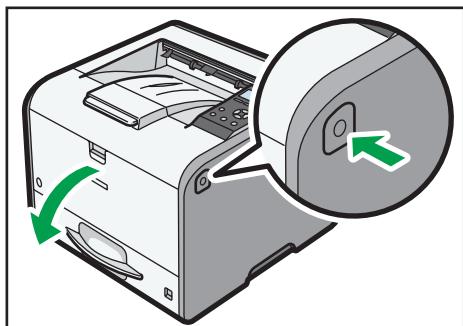
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

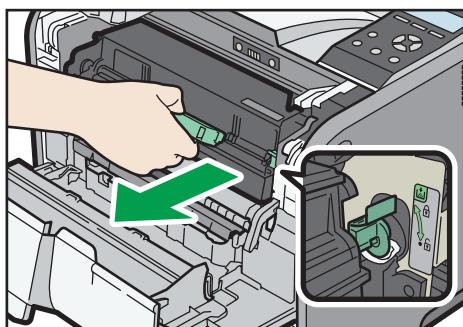
紙づまり (B) が発生したとき

1. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。



CZF005

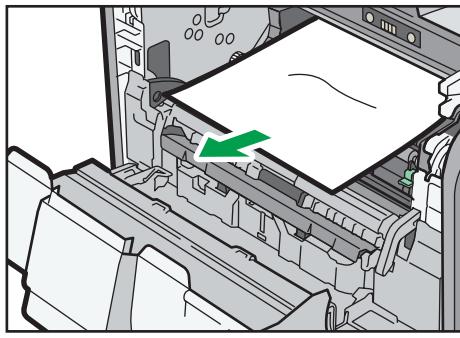
2. トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、本機から引き出します。



CZF050

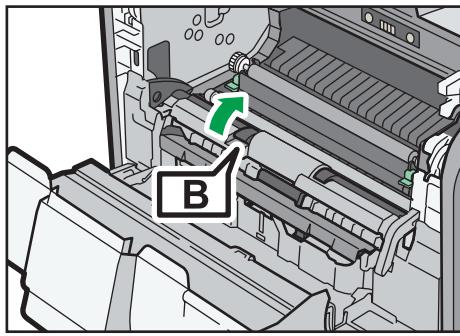
6. こまつたときには

3. つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。

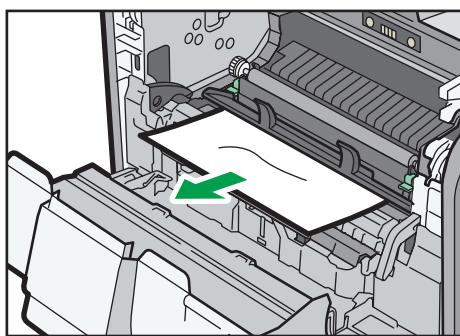


CZF061

4. つまつた用紙が見つからないときや引き抜けないときは、「B」を上げてつまつた用紙を取り除きます。



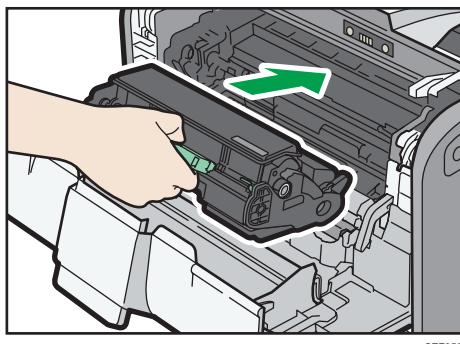
CZF060



CZF061

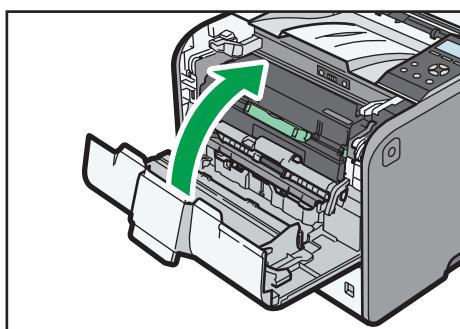
6

5. トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。



CZF052

6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



CZF053

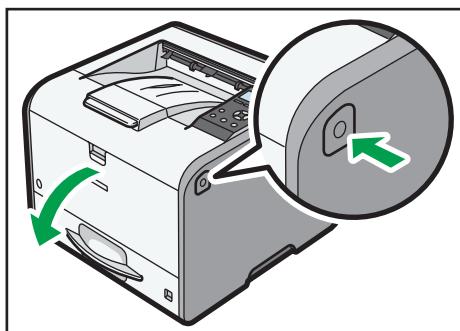
6

↓ 補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

紙づまり (B) (C) が発生したとき

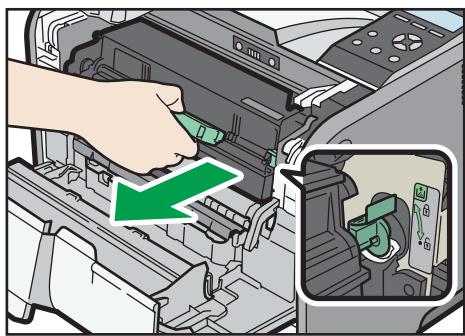
1. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。



CZF005

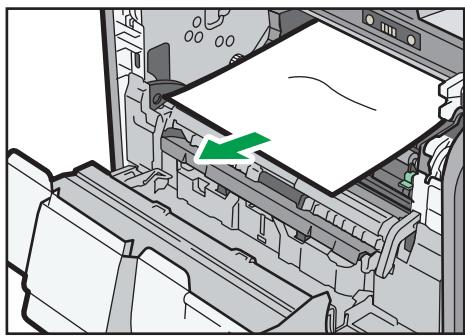
6. こまつたときには

2. トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、本機から引き出します。



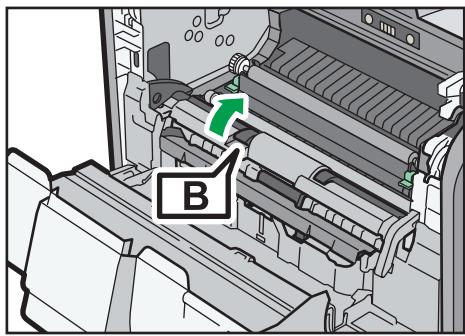
CZF050

3. つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。

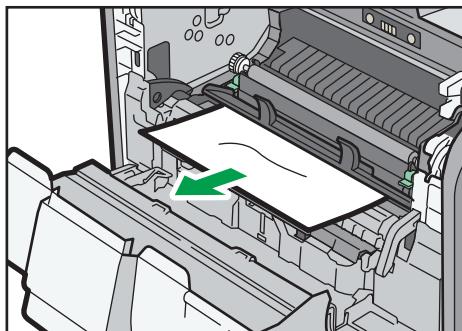


CZF061

4. つまつた用紙が見つからないときや引き抜けないときは、「B」を上げてつまつた用紙を取り除きます。

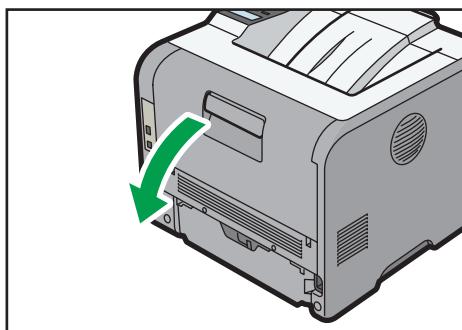


CZF060



CZF061

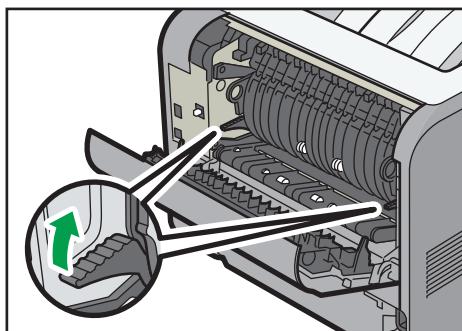
5. 後ろカバーを開けます。



CZF062

6

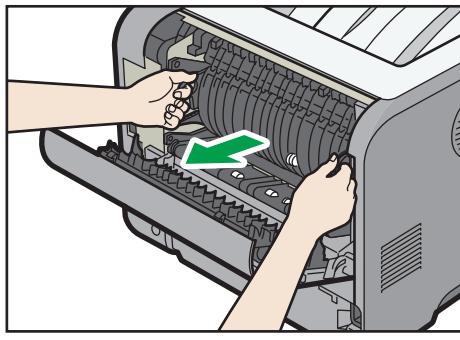
6. 定着ユニット固定レバーを上げてロックを解除します。



CZF063

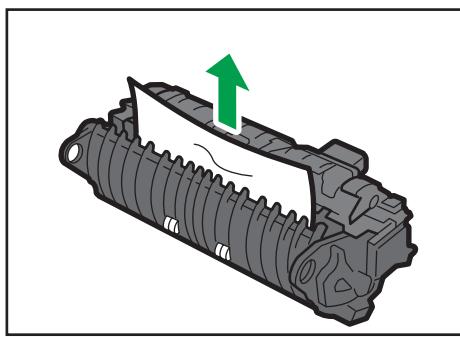
6. こまつたときには

7. 定着ユニットを本機から引き抜きます。



CZF064

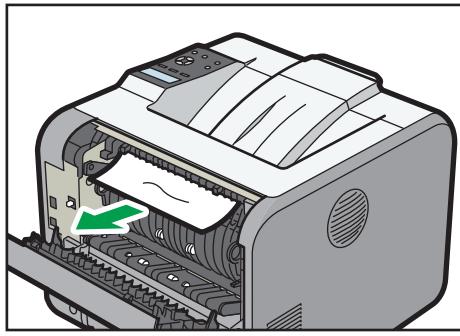
8. カバーを開いて、つまつた用紙を取り除きます。



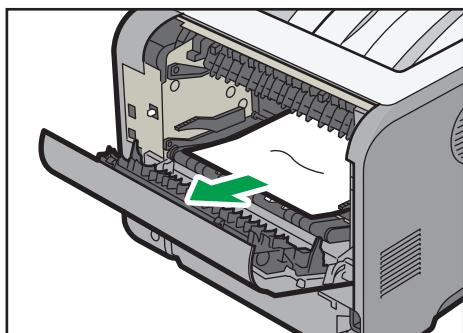
CYN065

6

9. 定着ユニットに用紙がつまつていなときは、本機の内部からつまつた用紙を取り除きます。

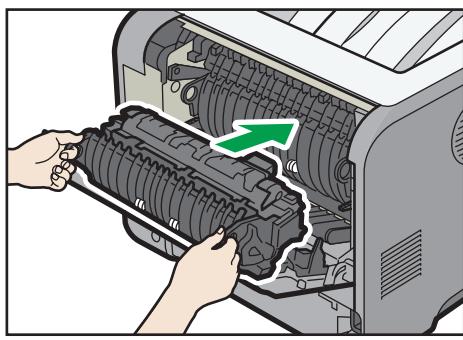


CZF074



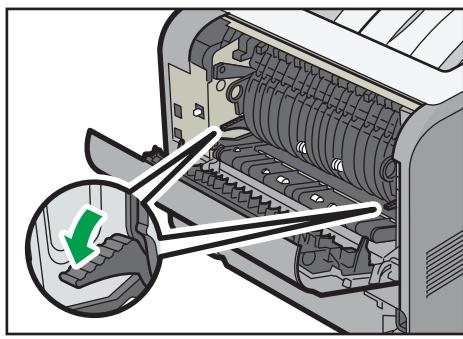
CZF067

10. 定着ユニットを本機の奥まで差し込みます。



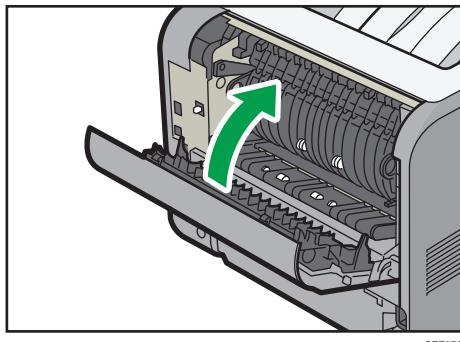
CZF068

11. 定着ユニット固定レバーをカチッと音がするまで下げる、ロックします。



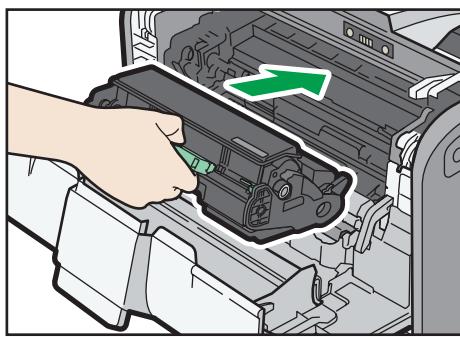
CZF069

12. 後ろカバーを閉めます。



CZF070

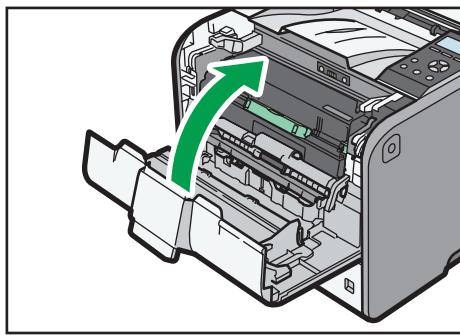
13. トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。



CZF052

6

14. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



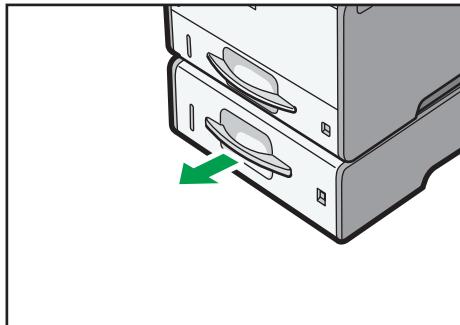
CZF053

↓ 補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

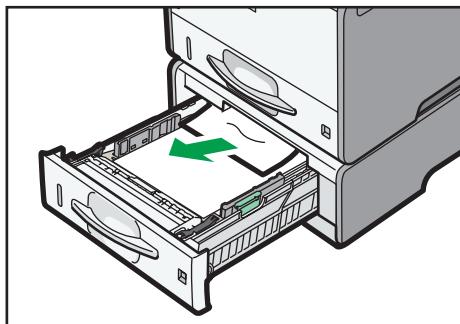
紙づまり (Y1) が発生したとき

1. 紙づまり (Y1) が発生したとき
1. 紙づまり (Y1) が発生したとき
1. 紙づまり (Y1) が発生したとき



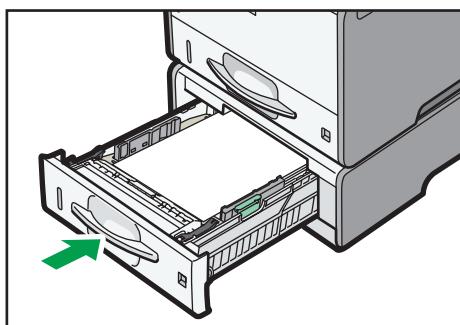
CZF910

2. つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。



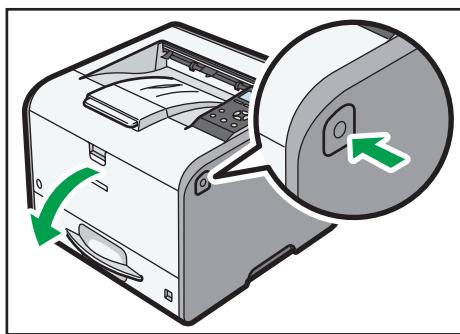
CZF912

3. 紙づまり (Y1) が発生したとき

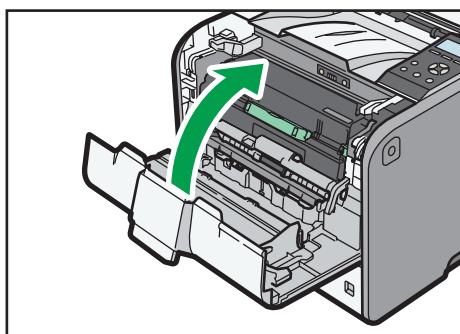


CZF911

4. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。



CZF005



CZF053

6

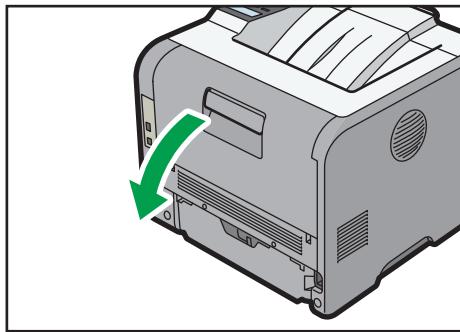
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

↓ 補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

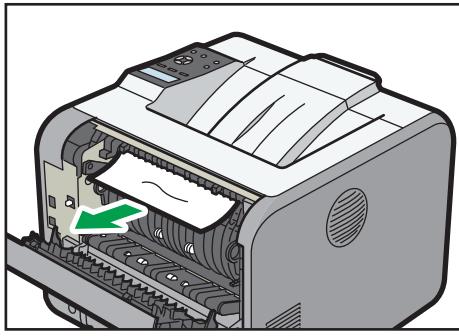
紙づまり (Z1) が発生したとき

1. 後ろカバーを開けます。

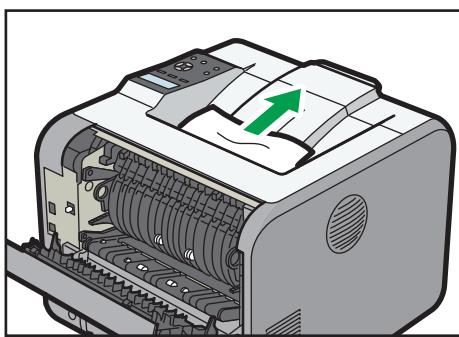


CZF062

2. つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。

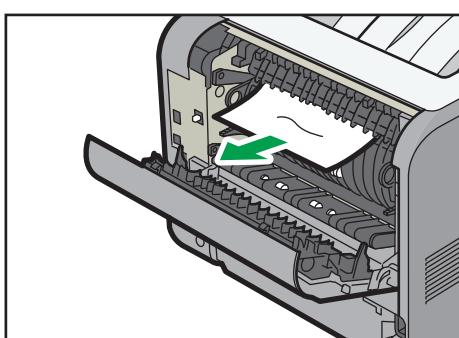


3. つまつた用紙が排紙口から出ているときは、後ろカバーを開けた状態のまま、つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。



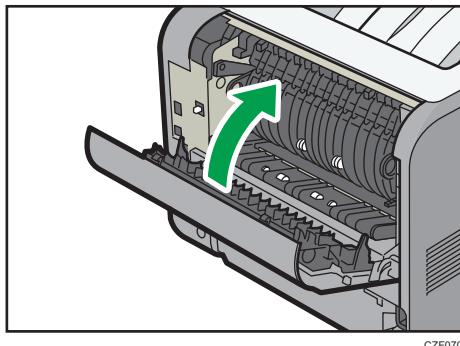
6

4. つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。



6. こまつたときには

5. 後ろカバーを閉めます。

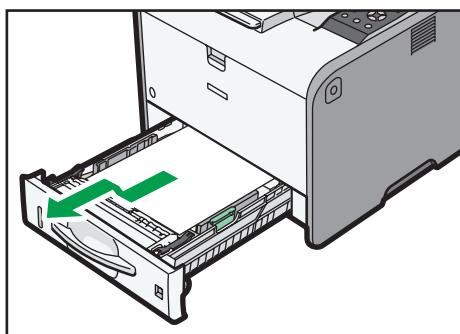


CZF070

紙づまり (Z2) が発生したとき

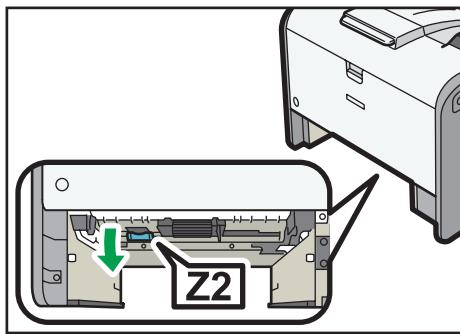
1. 紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

6



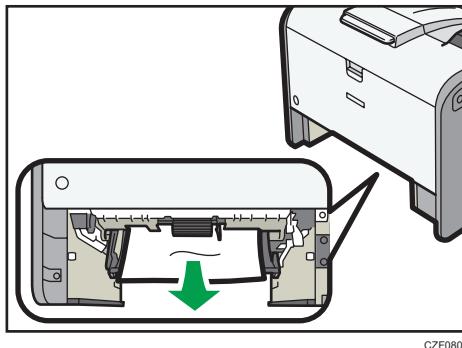
CZF109

2. 「Z2」を下げます。

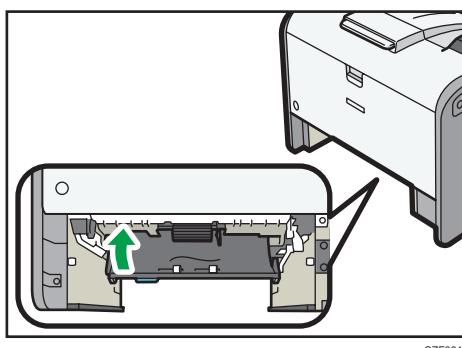


CZF079

3. つまつた用紙をゆっくりと引き抜きます。

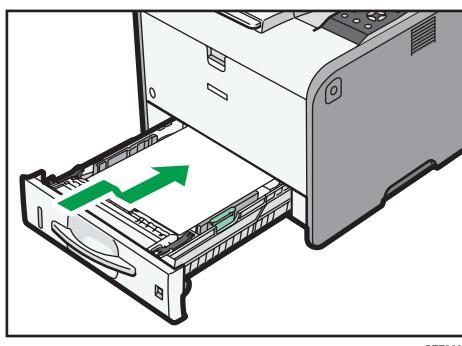


4. 「Z2」を元の位置に戻します。

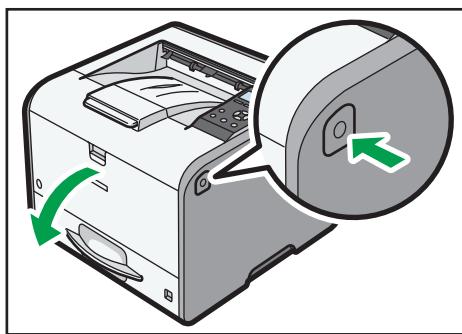


6

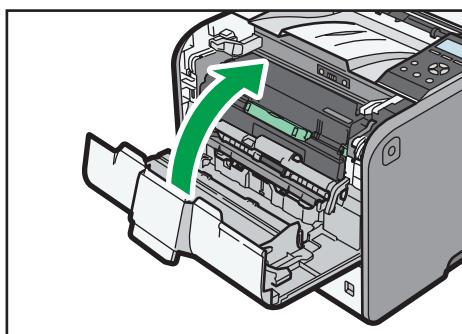
5. 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



6. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。



CZF005



CZF053

6

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

↓ 補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

7. 保守/仕様

消耗品交換時の注意事項や本機の清掃方法を説明しています。また、本機やオプションの仕様について説明しています。

守ってほしいこと

本機を使用するときに、守ってほしい項目です。

使用上のお願い

⚠ 警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★ 重要

- 通風孔などでは排気により温かいと感じることがあります。異常ではありません。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じことがあります。結露が生じたときは、2時間以上放置して環境になじませてから使用してください。
- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
- 動作中に各部のカバーや給紙トレイを開けないでください。用紙がつまることがあります。
- 電源が入った状態で本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。
- 動作中に本体の上で紙をそろえるなど外的ショックを与えないでください。

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- ・排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- ・換気量 1人あたり 30m^3 以上/時間の換気をしてください。

オゾン臭が感じられることがあります、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値（日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告）：0.1ppm、 $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

印刷物の取り扱い

7

- ・印刷物は、長時間水や光にさらされると色あせことがあります。長時間保存するときは、バインダーなどで水や光から保護することをお勧めします。
- ・印刷物と生乾きの印刷物を重ね合わせると、トナーが溶けることがあります。
- ・印刷物をはるとき、溶剤系の接着剤を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- ・印刷物を折り曲げると、折った部分のトナーがはがれことがあります。
- ・塩化ビニール製のマットに印刷物を挟んだまま、温度の高いところに長時間放置すると、トナーが溶けることがあります。
- ・暖房器具の近くなど、極度に温度が高くなるところに印刷物を放置すると、トナーが溶けることがあります。

本機を移動する

設置、移動するときの注意事項を説明します。

⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- プリンター本体は約 15kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。



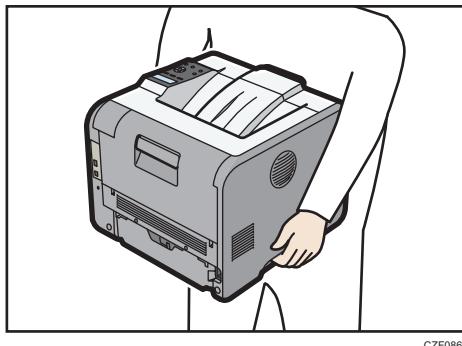
- 機械を移動するときは、操作部を持たないでください。故障の原因になったり、操作部が破損して、けがをすることがあります。

★ 重要

- 本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 次のことに注意し、移動してください。
 - 電源を切ってください。P.28 「電源の切りかた」を参照してください。
 - 前カバーや手差しトレイなどを閉めてください。
 - 増設トレイなどを取り付けているときは、すべて取り外して、本機とは別々に移動してください。
 - 本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。

- 水平を保ち、静かに動かしてください。振動させたり、大きく傾けたりしないでください。故障の原因になったり、ハードディスクやメモリーが破損し、蓄積された文書が消失することがあります。
- @Remote を利用しているときは、イーサネットケーブルを抜いてから移動してください。@Remote のアダプターは本機に接続できる位置に移動し、接続されていた端子にコードを正しく接続し、アダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。

1. 本体の両側についている運搬用の取っ手を持ち、本機を水平に保って、静かに移動します。



CZF086

7

移動するときは、トナーがこぼれないようにできるだけ水平を保ってください。
机上の本体を移動するときは、引きずらないで必ず持ち上げて移動してください。

2. 取り外した外部オプションを取り付けます。

本機を清掃する

本機の清掃のしかたを説明します。

清掃のしかた

⚠ 注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

★ 重要

- クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。すきまからしみこんだり、本機のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。
- 機械内部など、本書で説明している部分以外の清掃はカスタマーエンジニアに依頼してください。

やわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水でぬらして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。水拭き後、から拭きをして水気を十分に取ります。

7

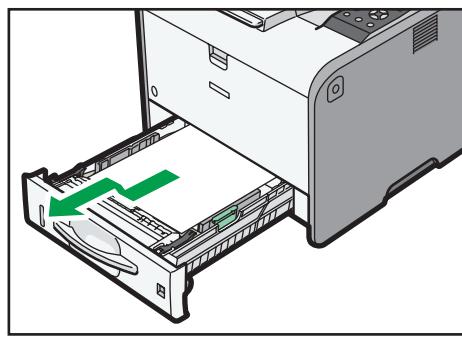
給紙トレイ、フリクションパッド、給紙コロを清掃する

紙粉が多く出て給紙トレイやフリクションパッドなどが汚れると、紙が重なって送られたり、つまったりする原因になります。

給紙トレイとフリクションパッドの清掃方法はどのトレイでも同じです。本体トレイを例に説明します。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2. 紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

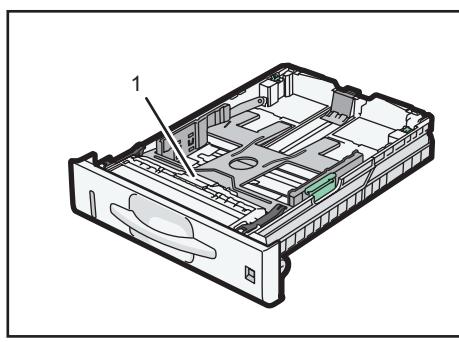


CZF109

平らな場所に給紙トレイを置いて、セットしている用紙を取り出してください。

3. 水でぬらし固く絞った布、または乾いた布で以下の箇所を拭きます。

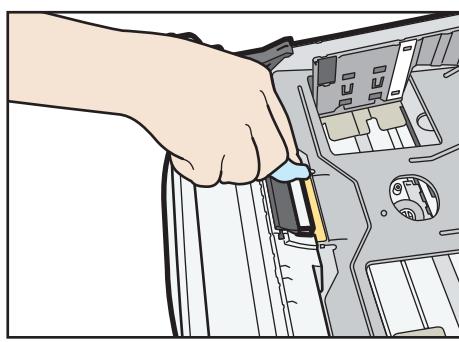
- フリクションパッド



CYN911

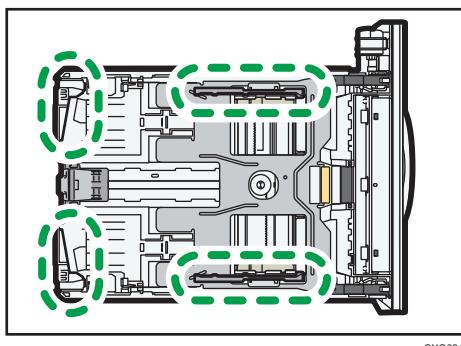
1. フリクションパッド

フリクションパッドの清掃には乾いた布を使用してください。



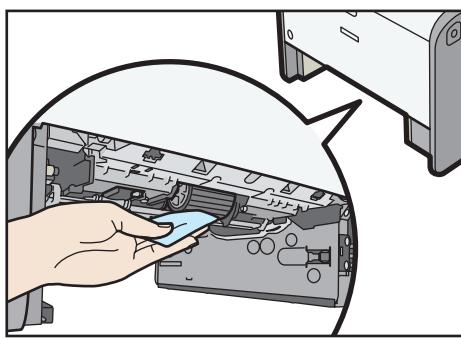
CXC623

- 紙トレイ



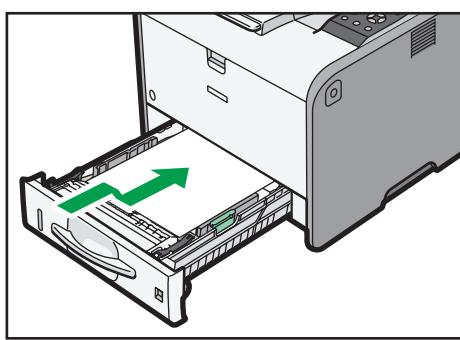
- 紙入口

水でぬらし固く絞った布を使用して、紙入口を回転させながら全体を拭いてください。その後、乾いた布で拭いてください。



7

4. 前面を持ち上げるようにして紙入トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



用紙をセットした紙入トレイを本機にセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることができます。

レジストローラーを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときや紙づまりの処理のあとなどは、レジストローラーの周辺が汚れることがあります。紙粉や汚れによって印刷結果に部分的な白ヌケが起きるときは、レジストローラーを清掃してください。

⚠ 注意



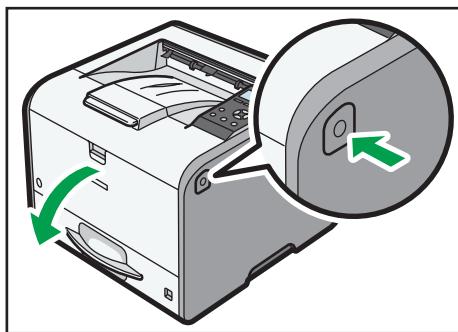
- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

★ 重要

- アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

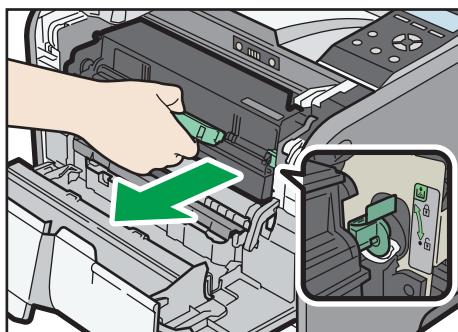
- 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

7



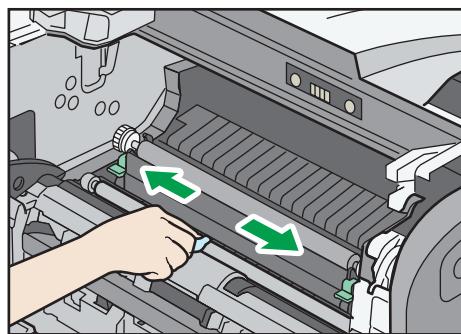
CZF005

- トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、本機から引き出します。



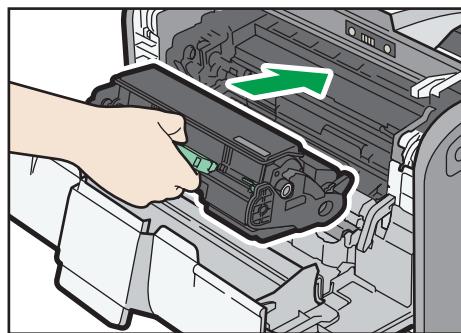
CZF050

4. 水でぬらし、固く絞った布でレジストローラーを回しながら、左右に動かして拭きます。その後乾いた布で拭きます。



CZF051

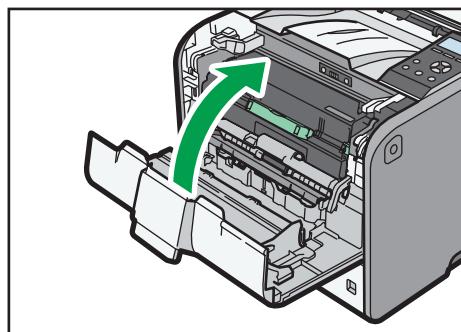
5. トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。



CZF052

7

6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



CZF053

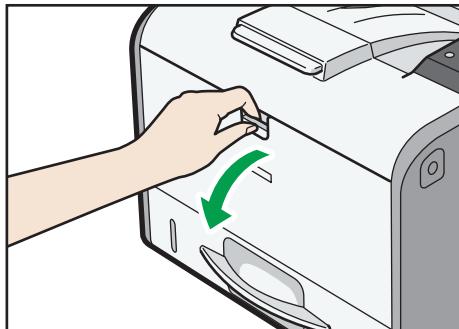
7. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

手差しトレイの給紙口を清掃する

★ 重要

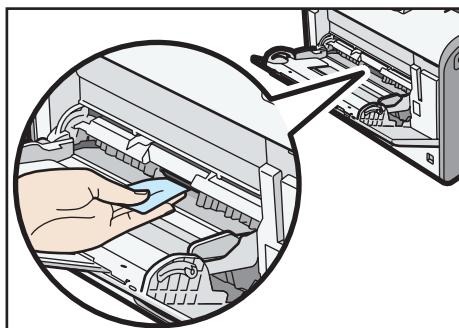
- ・アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 手差しトレイ中央の手差しトレイオープンボタンを押し下げながら、手差しトレイを開きます。



CZF036

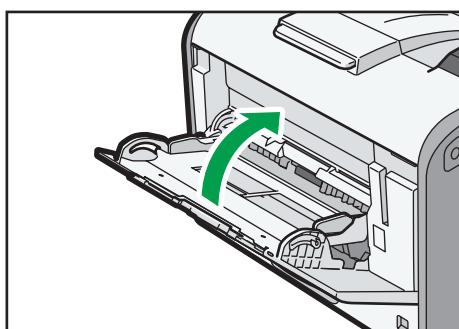
3. 水でぬらし、固く絞った布で、手差しトレイの給紙コロを回しながら、左右に動かして拭きます。その後乾いた布で拭きます。



CZF111

7

4. 手差しトレイを閉じます。



CZF913

5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

LED ヘッドを清掃する

印刷したときにかすれたり、白いスジが入ったり、文字がにじんだりするときは、LED レンズクリーナーで LED ヘッドを清掃してください。LED レンズクリーナーは本体、ドラムユニットに同梱されています。

⚠ 注意

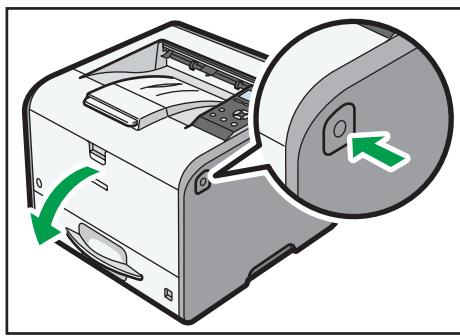


- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。



- LED ヘッドの清掃は、本機の電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

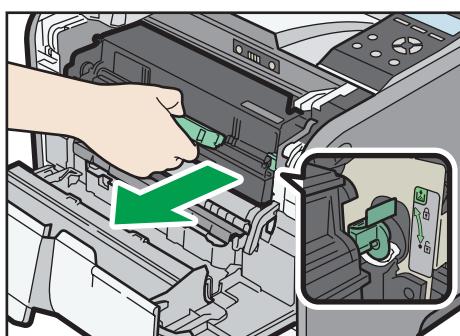
1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 前カバーオープンボタンを押し、前カバーをゆっくりと開けます。



CZF005

7

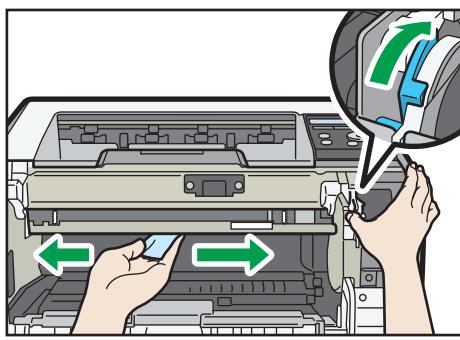
3. トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、本機から引き出します。



CZF050

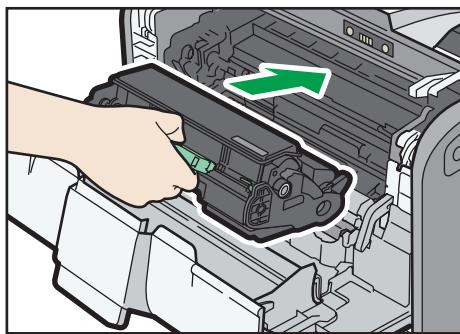
4. 片手でレバーを突き当て位置まで押しながら、もう片方の手で LED ヘッド下部のレンズ面を LED レンズクリーナーで軽く拭きます。

レバーを突き当て位置まで押すと、LED ヘッドが降りてきます。



CZF100

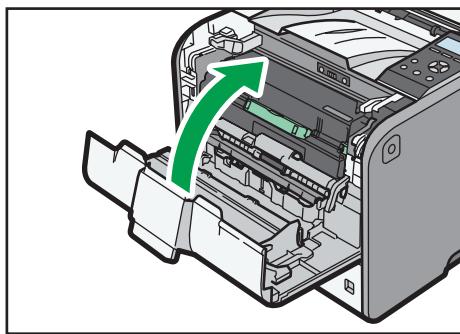
5. トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。



CZF052

7

6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



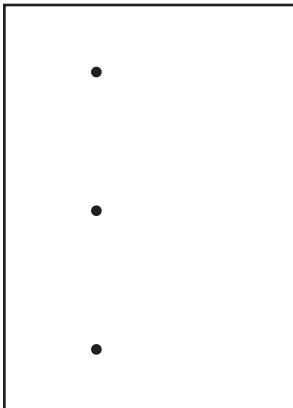
CZF053

7. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

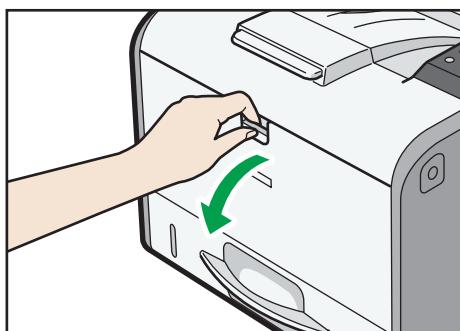
本体内部を清掃する

印刷した用紙に以下のイラストのような等間隔の黒い点が発生したときは、クリーニングシートを使用して清掃してください。

黒い点が発生する位置は状況により異なります。



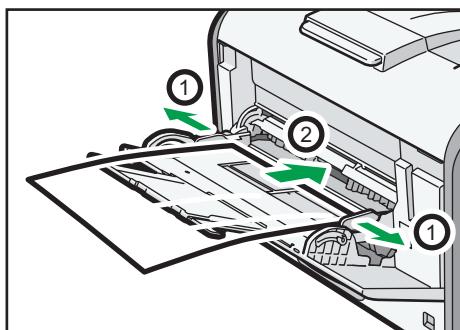
1. 手差しトレイ中央の手差しトレイオープンボタンを押し下げながら、手差しトレイを開きます。



CZF036

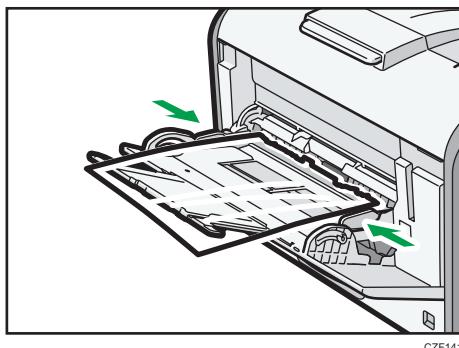
7

2. 用紙ガイドを広げ、クリーニングシートの先端が突き当たるまで差し込みます。



CZF140

3. 用紙ガイドをクリーニングシートの幅に合わせます。



4. 操作部から [クリーニングシート出力] を実行します。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを押して操作してください。

1. [調整/管理] ▶ [OK]
2. [品質調整] ▶ [OK]
3. [クリーニングシート出力] ▶ [OK]
4. [実行]

5. クリーニングシートが本体トレイに排紙されたら、アプリケーションから印刷の指示をして黒い点が印刷されないことを確認します。

一度の実行では改善されないときがあります。そのときは、新しいクリーニングシートを使用してもう一度手順 1 から操作してください。

7

補足

- 一度使用したクリーニングシートは再利用できません。
- クリーニングシートを使い切ったときや紛失したときは、[Bk チャート] をかわりに実行してください。[Bk チャート] については、P.92 「調整/管理」を参照してください。

電源プラグの清掃

⚠️ 警告



- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- ・電源コードは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - ・電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - ・電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
 - ・電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - ・電源コードの一部が熱くなる
 - ・電源コードが傷んでいる
- ・上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

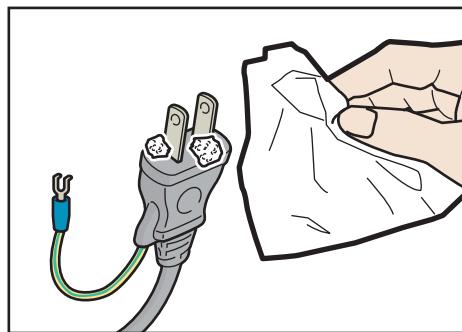
★ 重要

- ・電源プラグを抜くときは、本機の電源を切ってください。P.28「電源の切りかた」を参照してください。

7

お手入れの方法

乾いた布で、ほこりを取り除きます。



CJX002

↓ 補足

- ・お手入れをするときは、電源コードが本機に接続されていることを確認してください。

印刷濃度を調整する

本機を移動したときや厚紙を印刷したとき、または繰り返し通常の印刷をしたとき、印刷面にかすれや汚れがでることがあります。思いどおりの濃さに印刷するために、印刷濃度を調整してください。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

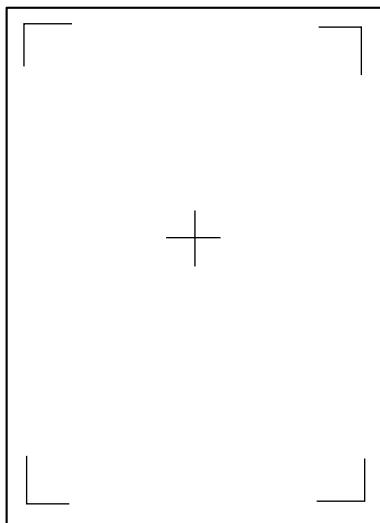
1. [調整/管理] ▶ [OK]
2. [品質調整] ▶ [OK]
3. [濃度調整] ▶ [OK]
4. 印刷濃度の調整値を入力 ▶ [OK]

印刷位置を調整する

通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの増設トレイを取り付けて印刷の位置がずれたときに調整します。

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

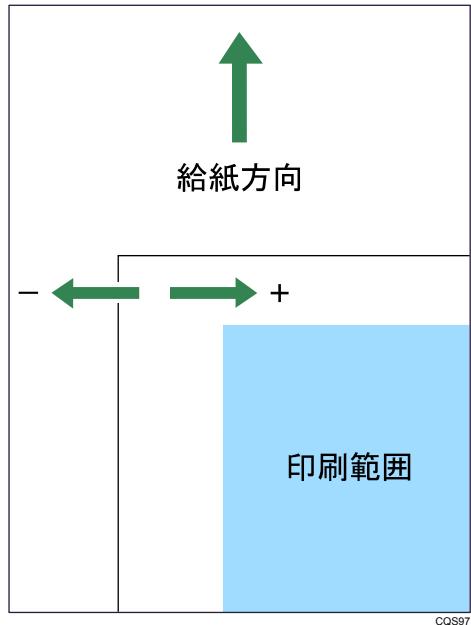
1. [調整/管理] ▶ [OK]
2. [印刷位置調整] ▶ [OK]
3. [調整シート印刷] ▶ [OK] ▶ 調整するトレイを選択 ▶ [OK]
4. [印刷] ▶ 印刷した調整シートで、実際の印刷位置を確認



7

5. [キャンセル] ▶ [調整実行] ▶ [OK] ▶ 調整するトレイを選択 ▶ [OK]

6. 数値を変更 ▶ [OK]



7

数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を-方向にずらして印刷します。

7. [キャンセル] ▶ [調整シート印刷] ▶ [OK] ▶ 調整した結果を確認

ファームウェアを更新する

ファームウェアのバージョンを確認し、最新バージョンでないときは、更新します。
最新バージョンのファームウェアは、インターネットからダウンロードできます。詳しくは、『ファームウェアアップデート手順書』を参照してください。

消耗品の補給と交換

消耗品は早めにお求めいただくことをお勧めします。消耗品をお買い求めの際は、P.168「消耗品一覧」を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

トナーを補給するときに注意してほしいこと、使用済みトナーの廃棄のしかたを説明します。

⚠️ 警告



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。



- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

7

⚠️ 注意



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーを吸入しないようにしてください。トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

△注意



- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹼水でよく洗い流してください。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

★ 重要

7

- 操作部にトナーの交換を促すメッセージが表示されてから、トナーカートリッジを交換してください。
- 本機に対応していないトナーカートリッジを使用すると、故障の原因になります。
- 電源を入れたままトナーを補給します。電源を切ると設定した内容が取り消され、印刷を再開できません。
- トナーカートリッジは、高温多湿、および直射日光をさけて 35°C以下の環境を目安に保管してください。
- トナーカートリッジは平らなところに置いてください。
- トナーカートリッジを取り外したあと、トナーカートリッジの口を下に向けたまま振らないでください。残ったトナーが飛散することがあります。
- トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れことがあります。

トナーがなくなったときには、操作部に次のメッセージが表示されます。トナーを補給するときは、新しいトナーカートリッジの外装箱に記載されている交換手順を参照してください。

「**▲ トナー補給 トナーカートリッジを交換してください。**」

次のメッセージが表示されたときは、もうすぐトナーがなくなります。交換用のトナーカートリッジを用意してください。

「▲ トナー残りわずか」

▼ 補足

- トナー残量が多いにもかかわらず▲が表示されるときは、トナーカートリッジの口を上に向けてよく振ってから、再セットしてください。

使用済みトナーを廃棄する

トナーの再利用はできません。

使用済みトナーカートリッジを廃棄するときは、トナー粉が飛び散らないように箱または袋に入れて保管してください。

保管したトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理されるときは、一般的なプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

ドラムユニットを交換する

消耗品を交換するときは、新しい消耗品に同梱されている交換手順書をよくお読みのうえ、行ってください。

7

△警告



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。



- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

△注意



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

△注意



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーを吸入しないようにしてください。トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釀してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹼水でよく洗い流してください。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

★重要

- ドラムユニットは長時間光に当てると性能が低下します。交換は速やかに行ってください。
- ドラムユニットの下部表面に触れたり、傷つけたりしないよう注意してください。
- ドラムユニットを取り外した状態で、本機を放置しないでください。

操作部に次のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットを交換してください。

「ドラムユニットの交換時期です。印刷を停止しました。ドラムユニットを交換後、印刷を再開します。」

次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しいドラムユニットを用意してください。

「ドラムユニットの交換時期です。ドラムユニットを交換して下さい。」

消耗品一覧

トナーカートリッジ

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数
RICOH SP トナー 4500L	600546	1 個	約 3,000 ページ
RICOH SP トナー 4500	600545	1 個	約 6,000 ページ

↓ 補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4 サイズで、「ISO/IEC19752」に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値のときです。「ISO/IEC19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。早めにご購入いただくか、買い置きすることをお勧めします。
- トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があったときは購入された販売店までご連絡ください。
- 本機をはじめてご使用になるときは、本機に同梱されているトナーカートリッジを使いください。
- 同梱されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は、約 1,500 ページです。

7

ドラムユニット

商品名	商品コード	販売単位
RICOH SP ドラムユニット 4500	512560	1 個

↓ 補足

- ドラムユニット（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

用紙

- 本機では、グリーン購入法適合用紙「マイリサイクルペーパー 100」が使用できます。
- その他、各種用紙の情報については、リコーエンタープライズホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/printer/paper/>) を確認するか、購入窓口にお問い合わせください。

関連商品一覧

外部オプション

500 枚増設トレイ 4500（商品コード：512541）

500 枚の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。標準装備の給紙トレイ（500 枚）、手差しトレイ（100 枚）と合わせると、最大 1,600 枚の用紙を同時にセットできます。

250 枚増設トレイ 4500（商品コード：512542）

250 枚の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。標準装備の給紙トレイ（500 枚）、手差しトレイ（100 枚）と合わせると、1,100 枚の用紙を同時にセットできます。

インターフェースケーブル

USB2.0 プリンターケーブル（商品コード：509600）

USB プリンターケーブル 2.5m

本体とオプションの仕様

 補足

- ・オープンソースを含むその他のソフトウェアについて、各著作者の許諾を得て利用しています。著作者から要求されている記載事項は、付属の CD-ROM に収録されている「OSS.pdf」のファイルを参照してください。

本体の仕様

項目	内容
方式	LED アレイ + 乾式一成分電子写真方式
連続プリント速度 (A4)	30 ページ/分
ファーストプリント (A4) *1	6.5 秒以下
解像度	600×600 dpi 1,200×1,200 dpi
変倍率	25～400% (プリンタードライバー使用時)
用紙サイズ	詳しくは、P.40 「セットできる用紙のサイズ」を参照してください。
用紙種類	詳しくは、P.42 「セットできる用紙の種類」を参照してください。
用紙厚	詳しくは、P.42 「セットできる用紙の種類」を参照してください。
給紙量	標準 本体給紙トレイ：250 枚 手差しトレイ：100 枚 最大 850 枚 (本体給紙トレイ+手差しトレイ+500 枚増設トレイ増設時)
排紙量	125 枚
排紙方法	裏面排紙
両面印刷	標準
製品寿命	60 万ページまたは 5 年のいずれか早い方
電源	100V、12A、50/60Hz
消費電力	最大：960W 以下
ウォームアップタイム	19 秒以内
寸法 (幅×奥行き×高さ)	本体のみ：370×392×261mm ^{*2}
質量	14.5kg

項目	内容
騒音 ^{*3}	待機時：34dB (A) 稼動時：60.5dB (A)
CPU	ARM Cortex A8 500MHz
メモリー	標準：512MB
出力形式	標準 PCL 6、PCL 5e
インターフェース	標準 イーサネット（100BASE-TX/10BASE-T） USB2.0（B タイプ） ^{*4}
搭載フォント	標準 欧文 45 書体/International font 13 書体/ビットマップフォント 6 書体（PCL 用）
エネルギー消費効率	区分名 C エネルギー消費効率 71kWh/年

*1 本機がしばらく使われていないときは、1 ページ目の印刷に多少時間がかかることがあります。

*2 操作部を含む本機の高さは、268mm です。

*3 ISO7779 に基づく実測値であり、バイスタンダ（近在者）位置の音圧レベルです。

*4 USB 2.0 インターフェースを使用して本機を接続するとき、USB 2.0 に対応したパソコンとケーブルが必要です。

250 枚増設トレイの仕様

最大消費電力	15W（電源は本体から供給）
大きさ（幅×奥行き×高さ）	370×392×95mm
質量	4.1kg

補足

- 使用できる用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」または P.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

500枚増設トレイの仕様

最大消費電力	15W（電源は本体から供給）
大きさ（幅×奥行き×高さ）	370×392×125mm
質量	4.5kg

↓ 補足

- 使用できる用紙については、P.40「セットできる用紙のサイズ」またはP.42「セットできる用紙の種類」を参照してください。

エネルギー・スタープログラム

国際エネルギー・スタープログラム



国際エネルギー・スタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

省エネルギー機能

本機は節電のために「スリープモード」機能を搭載しています。

一定時間操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。電力消費量が低くなったこの状態を「スリープモード」と呼びます。スリープモードでもパソコンからの印刷はできます。

工場出荷時のスリープモードへの移行時間（初期設定移行時間）は1分に設定されています。

スリープモードでの消費電力	1W未満
スリープモードへの移行時間	1分
スリープモードからの復帰時間	10秒未満

↓ 補足

- スリープモードに移行する時間は【スリープモード設定】で変更できます。詳しくは、P.97「システム設定」を参照してください。
- スリープモード中に印刷データを受信したときは、操作部の画面にメッセージを表示して印刷します。印刷終了後は、【スリープモード設定】の設定時間に従ってスリープモードに移行します。

お問い合わせ

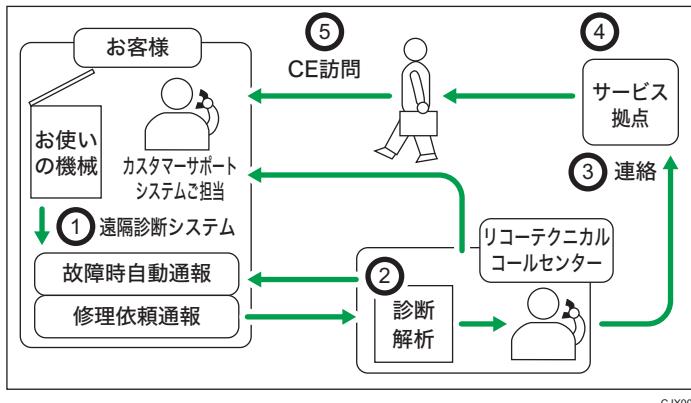
保守サービス契約、お問い合わせ先について説明します。

リモート管理サービスを利用する

機械が故障したり、修理を依頼したいときにリコーアクニカルコールセンターへ通報します。

★重要

- ・「センターに自動通報できませんでした」と表示されているときやリコーアクニカルコールセンターから連絡がないときは、サービス実施店に連絡してください。
- ・本機を移動するときは販売店またはサービス実施店に連絡してください。



7

通報には次の3種類があります。

故障時自動通報 (SC/サービスコール)

機械の自己診断機能で故障を検知したときにリコーアクニカルコールセンターへ自動通報します。

修理依頼通報 (MC/マニュアルコール)

頻繁に用紙がつまる、用紙を取り除いても紙づまり表示が消えないときなどに、次の手順で通報します。

操作部の【メニュー】キーを押し、【▼】【▲】キーを使用して操作してください。

1. [管理者用設定] ▶ [OK]
2. [修理依頼通報実行] ▶ [OK]
3. [通報] ▶ [OK]

補足

- 用紙がつまっている状態で一定時間放置されると警告音が鳴ります。

- ・リコーエクニカルコールセンターでの修理依頼受け付け時間は、9:00～18:00 です。ただし、日曜、祝日、年末年始は除きます。
- ・通報受信後、リコーエクニカルコールセンターからご担当者へ受信確認の連絡をいたします。お客様のカスタマーサポートセンターご担当者名を事前に販売店またはサービス実施店に連絡してください。ご担当者が代わられたときも同様に連絡してください。

保守サービス契約

本機をお買い上げいただく際にリコー保守サービス契約にご契約いただきます。保守サービス内容につきましては、販売担当者またはカスタマーエンジニアにお尋ねください。なお保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機の製造中止後 7 年間です。

お問い合わせ先

7

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOH のホームページからもご購入できます。

<http://www.netricoh.com>

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-8111

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0918 をご利用ください。

- ・受付時間：平日（月～金）9 時～12 時、13 時～17 時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）

- 050 ビジネスダイヤルは、一部の IP 電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- <http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

付録

Windows ターミナルサービス/Citrix Presentation Server を使用する

動作環境

使用できる OS と Citrix Presentation Server との組み合わせは次のとおりです。

Citrix Presentation Server 4.5/XenApp 5.0/6.0/6.5

- Windows Server 2003/2003 R2
- Windows Server 2008/2008 R2
- Windows Server 2012/2012 R2

制限

動作が制限される環境についての説明です。

「Windows ターミナルサービス」動作時

7

[スタート]メニューから Windows Server 2003 でターミナルサービスを実行している環境で Ridoc IO Navi をインストールするときは、必ずインストールモードでインストールしてください。インストールモードでインストールするには、次の 2 通りの方法があります。

1. Ridoc IO Navi をインストールします。
2. MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

CHANGE USER /INSTALL

インストールモードを終了するには、MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

CHANGE USER /EXECUTE

詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

印刷時

サイズの大きな画像や、フォントが大量に含まれたデータを印刷すると、画像や文字抜けが発生することがあります。事前検証のうえ、運用してください。

「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、Citrix サーバーにログオンするときに、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、Citrix サーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- ・大容量の画像データを印刷したり、ISDNなどの電話回線を利用したWAN環境で使用するときは、事前検証のうえ、運用してください。

- ・「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。

サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されないときは、次の対処方法を行ってください。

- ・「Citrix 管理コンソール」の「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

「プリンタードライバーの複製機能」使用時

事前検証のうえ、運用してください。

正しく複製されないときは、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

補足

- ・制限事項について詳しくは、リコーコーポレーションホームページを参照してください。

DHCP を使用する

7

本機を DHCP 環境で使用できます。

動作対象の DHCPv4 サーバーは、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 日本語版、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。

動作対象の DHCPv6 サーバーは、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2 日本語版、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。

毎回同じ IPv4 アドレスが割り当てられるように、本機に割り当てる IPv4 アドレスを DHCP サーバーで予約してください。

複数の DHCP サーバーが存在するときは、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用したとき、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかりことがあります。

補足

- ・本機が DHCP から取得した IPv4 アドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.36 「テスト印刷する」を参照してください。

AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかったとき、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx ではじまるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

↓ 補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IPv4 アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.36 「テスト印刷する」を参照してください。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3 以降が稼働している Macintosh とは通信できます。

ダイナミック DNS 機能を使用する

ダイナミック DNS とは、DNS サーバーが管理しているレコード（A レコード、AAAA レコードおよび PTR レコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境に DNS サーバーがあり、本機が DNS クライアントとなるときは、ダイナミック DNS 機能によって動的にレコードを更新できます。

更新処理について

本機の IP アドレスが静的か DHCP から取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

ダイナミック DNS 機能を使用しないときに、本機の IP アドレスが変更されると、DNS サーバーで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。

本機でレコードの更新を実行するときは、DNS サーバーの設定が次のどちらかになっている必要があります。

- セキュリティー設定がされていない
- セキュリティー設定で、更新を許可するクライアント（本機）を IP で指定している

静的 IPv4 設定のとき

IPv4 アドレス、ホスト名が変更されたとき、本機が A レコード、および PTR レコードを更新します。

DHCPv4 設定のとき

DHCPv4 サーバーが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

- 本機が DHCPv4 サーバーから IPv4 アドレスを取得する際、DHCPv4 サーバーが A レコードと PTR レコードを更新

- 本機が DHCPv4 サーバーから IPv4 アドレスを取得する際、本機が A レコードを更新し、DHCPv4 サーバーが PTR レコードを更新

IPv6 設定

本機が AAAA レコードおよび PTR レコードを更新します。

ステートレスアドレスが新たに設定されたときは、DNS サーバーに追加登録されます。

▼ 補足

- メッセージ認証を用いた動的更新 (TSIG、SIG (0)) はサポートしていません。

動作対象の DNS サーバー

静的 IPv4 設定のとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

DHCPv4 設定で本機が A レコードを更新するとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

DHCPv4 設定で、DHCPv4 サーバーがレコードを更新するとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

IPv6 設定のとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND9.2.3 以降

7

動作対象の DHCPv4 サーバー

本機の代理で A レコード、および PTR レコードを更新することができる DHCPv4 サーバーは次のとおりです。

- Windows Server 2003/2003 R2/2008 に標準添付の Microsoft DHCPv4 サーバー
- ISC DHCP 3.0 以降

SNMP を使用する

イーサネットインターフェースは UDP 上で動作する SNMP (Simple Network Management Protocol) エージェントが組み込まれています。SNMP マネージャを使用して本機の情報を取得できます。

工場出荷時はコミュニティ名 1 に「public」、コミュニティ名 2 に「ricoh」が設定されています。これらのコミュニティ名で MIB 情報を取得できます。

サポートしている MIB

SNMPv1/v2c

- MIB-II
- ipv6MIB
- ipv6IcmpMIB
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB
- PrinterPortMonitorMIB

7

商標

Adobe、Acrobat、PostScript、PostScript 3、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Citrix、Citrix Presentation Server、Citrix XenApp は Citrix Systems, Inc. の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。

Firefox は Mozilla Foundation の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

UPnP は UPnP Forum の登録商標です。

- Internet Explorer の正式名称は次のとおりです。
Microsoft® Internet Explorer® 6
- Windows XP の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® XP Professional

Microsoft® Windows® XP Home Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows 8 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8

Microsoft® Windows® 8 Pro

Microsoft® Windows® 8 Enterprise

- Windows 8.1 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8.1

Microsoft® Windows® 8.1 Pro

Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

- Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 Standard

- Windows Server 2012 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

